スペック シート

Cisco HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッドサーサーバノード

このマニュアルの印刷版は単なるコピーであり、必ずしも最新版ではありません。最新のリリース バージョンについては、次のリンクを参照してください。

https://www.cisco.com/c/en/us/products/servers-unified-computing/HX-c-series-rack-servers/datasheet-listing.html

CISCO SYSTEMS
170 WEST TASMAN DR
SAN JOSE, CA, 95134
WWW.CISCO.COM/JP

出版履歴

リビジョン A.07　2023 年 6 月 1 日

目次

概要 5
詳細図 7
シャーシ前面図 - HXAF225C-M6S (All Flash) 7
シャーシ前面図 - HX225C-M6S (Hybrid) 8
詳細なシャーシ背面図 9
サーバ本体の標準機能と特長 13
サーバの構成 17
ステップ　1 サーバーの型番を確認する 18
ステップ　2 展開モードを選択する (オプション) 19
ステップ　3 ライザーを選択する 20
ステップ　4 CPU を選択する 21
ステップ　5 メモリを選択する 23
ステップ　6 ドライブ コントローラの選択 28
Cisco 12G SAS HBA 28
ステップ　7 ドライブを選択する 29
ステップ　8 ハイパーフレックス接続モードの選択 33
ステップ　9 オプション カードを選択します 34
ステップ　10 オプションの PCIe オプション カード アクセサリを選択する 36
ステップ　11 GPU カードを選択する（オプション）、ページ 39
ステップ　12 電源ユニットを注文する 40
ステップ　13 入力電源コードを選択する 41
ステップ　14 工具不要レール キットとオプションのリバーシブルなケーブル マネジメント アームを選択する 44
ステップ　15 セキュリティ デバイスを選択する（オプション） 45
ステップ　16 ロックキー付きセキュリティ ベゼルを選択する（オプション） 46
ステップ　17 ハイパーバイザ / ホスト オペレーティング システムを選択する 47
ステップ　18 HYPERFLEX データ プラットフォーム（HDXP）ソフトウェアを選択する 48
ステップ　19 CISCO INTERSIGHT 49
ステップ　20 サービスおよびサポート レベルを選択する 50
Unified Computing Warranty（契約なし） 50
Cisco UCS 向け Smart Net Total Care (SNTC) 50
Cisco UCS 向け Smart Net Total Care オンサイト トラブルシューティング サービス . . . 52
USC 向けソリューション サポート （SSTP） 53
サービス プロバイダ向けソリューション サポート 54
Smart Net Total Care for UCS Hardware Only Service 55
UCS のパートナー向け サポート サービス 56
UCS ハードウェア専用の PSS 57
ディストリビュータ サポート　サービス（DSS） 58
Unified Computing Combined Support サービス 59
UCS Drive Retention サービス 60
UCS のローカル言語テクニカル サポート 60
参考資料 61
ハイパーコンバージド システム 61
シャーシ 65
ライザー 67
AMD ROM および MILAN CPU のメモリ サポート 70
シリアル ポートの詳細 70
KVM ケーブル 71
スペア部品 72

目次

CPU およびヒートシンクの交換 77
メモリのアップグレードまたは交換 78
技術仕様 79
寸法と重量 79
電力仕様 80
環境仕様 83
拡張動作温度におけるハードウェア構成の制限 84
コンプライアンス要件 85

目次

概要

Cisco HyperFlex™ システムは、ハイパーコンバージド システムのデザインが持つ力を最大限に活用できます。ソフトウェア デファインド インフラをベースとするこのシステムでは、Cisco Unified Computing System（Cisco UCS）サーバによるソフトウェア デファインドのコンピューティング、強力な Cisco HX Data Platform を利用したソフトウェア デファインド ストレージ、そして Cisco Application Centric Infrastructure（Cisco ACI™）とも連携・統合可能な Cisco UCS ファブリックによるソフトウェア デファインド ネットワーキングが一元化されています。こうしたテクノロジーにより接続とハードウェア管理を一元化することで、統合されたリソース プールをビジネス ニーズに合わせて提供できる、適応性の高い統合クラスタが実現します。

HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッドサーバノードは、Cisco's HyperFlex ポートフォリオの機能を 1U 内で AMD CPU、CPU あたり 16 DIMM スロット（最大 128 GB の DIMM 容量を備えた 3200-MHz DDR4 DIMM）に拡張します。2 個の CPU の最大メモリ容量は 4 TB です (32 x 128 GB DDR4 DIMM)。

前面ドライブと背面ライザーの構成は複数あります。

ドライブ

次の 2 つのサーバーノードから選択できます。

- **HXAF225C-M6S (All Flash)** (*図 1、(6 ページ)* を参照) :
  - 最大 10 台の前面 SFF SAS / SATA SSD および NVMe キャッシング ドライブ。
- **HX225C-M6S (Hybrid)** (*図 1、(6 ページ)* を参照) :
  - 最大 10 台の前面 SFF SAS / SATA HDD および SSD。

背面 PCIe ライザーを選択する

- 1 ~ 3 個のハーフハイト PCIe ライザー、または
- 1 ~ 2 個のフルハイト PCIe ライザー

ドライブ コントローラ

サーバには、次のいずれかの内部スロットがあります。

- SAS/SATA ドライブを制御する Cisco 12G SAS パススルー HBA

注：PCIe ドライブは CPU から直接制御されます。

HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッドサーバノードには、 1 つの 1 GbE 管理ポートがあります。モジュール型 LAN on Motherboard（mLOM）モジュールは、最大 2 個の 100 GbE ポートを備えています。シャーシ前面のコネクタは KVM 機能を提供します。

デプロイオプション

HyperFlex 5.0（2a）以降、次の 2 つの展開オプションがサポートされています：

- **ファブリック インターコネクトを備えた HX データセンター** - この展開オプションは、サーバを Cisco ファブリック インターコネクトに接続します。このタイプの展開のインストールは、スタンドアロン インストーラーを使用するか、Intersight から実行できます。
- **ファブリック インターコネクトのない HX データ センター** - この展開オプションでは、サーバーノードを既存のスイッチに直接接続できます。このタイプの展開のインストールは、Intersight からのみ実行できます。

HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッドサーバーノードの前面図と背面図は *図 1、(6 ページ)* を参照してください。

図 1　Cisco HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッド通話サーバノード

HXAF225C-M6S (All Flash)

10 台の前面ドライブは、SAS/SATA SDD および NVMe (最大 2 台の NVMe 前面ドライブ) ドライブです。

正面図（詳細は *図 2、(7 ページ)* を参照）

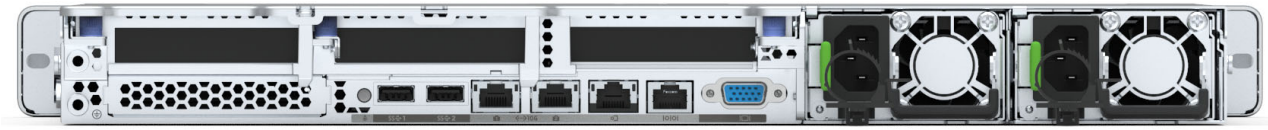
HX225C-M6S (Hybrid)

10 台の前面ドライブは SAS / SATA HDD および SDD

前面図（詳細はを参照）*図 3、(8 ページ)*

背面図（1 つのハーフハイト ライザー バージョン）（詳細については、*図 4、(10 ページ)* を参照）

背面図（3 つのハーフハイト ライザー バージョン）（詳細については、*図 5、(11 ページ)* を参照）



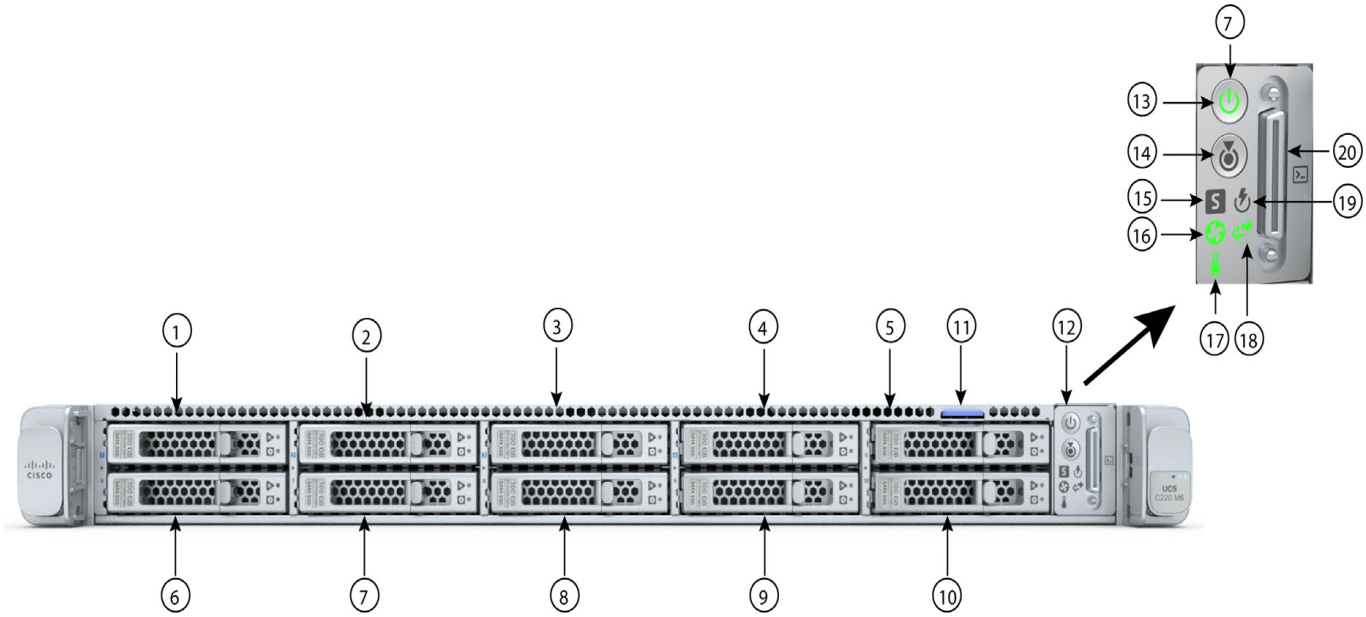
背面図（フルハイト ライザー バージョン 2 個）（詳細は *図 6、(12 ページ)* を参照）

詳細図

シャーシ前面図 - HXAF225C-M6S (All Flash)

図 2 Cisco HyperFlex HXAF225C-M6S (All Flash) サーバーノードの前面図を示します。

図 2　　シャーシの前面図



1 ~ 4	ドライブ ベイ 1 ~ 4 は SAS/SATA ソリッド ステート ドライブ（SSD）または NVMe PCIe ドライブをサポートします。[1]	**15**	システム ステータス LED
5 ~ 10	ドライブ ベイ 5 ~ 10 は SAS/SATA ソリッド ステート ドライブ（SSD）のみをサポート。	**16**	ファン ステータス LED
11	資産タグのロケーション	**17**	温度ステータス LED
12	コントロール プレーン	**18**	ネットワーク リンク アクティビティ LED
13	電源ボタン / 電源ステータス LED	**19**	電源装置ステータス LED
14	ユニット識別ボタン /LED	**20**	KVM コネクタ（USB 2.0 2 個、VGA 1 個、シリアル コネクタ 1 個を装備した KVM ケーブルで使用）

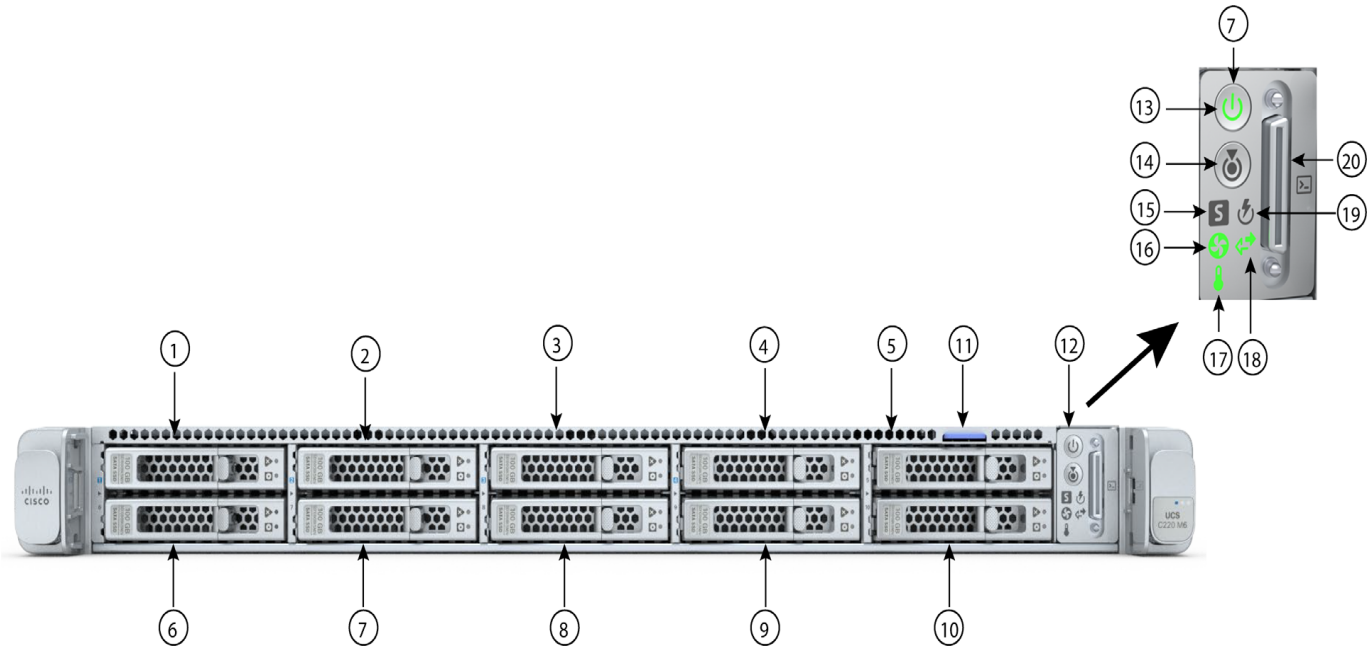
注：

1. NVMe ドライブが選択されている場合、2 CPU も選択する必要があります。

シャーシ前面図 - HX225C-M6S (Hybrid)

図 3 Cisco HyperFlex HX225C-M6S (Hybrid) サーバーノードの前面図を示します。

図 3　　シャーシの前面図



1 ~ 4	ドライブ ベイ 1 ~ 4 は SAS/SATA ハード ドライブおよびソリッド ステート ドライブ (SSD) をサポートします	**15**	システム ステータス LED
5 ~ 10	ドライブベイ 5 ~ 10 は SAS / SATA ハード ドライブ (HDD) のみをサポート	**16**	ファン ステータス LED
11	資産タグのロケーション	**17**	温度ステータス LED
12	コントロール プレーン	**18**	ネットワーク リンク アクティビティ LED
13	電源ボタン / 電源ステータス LED	**19**	電源装置ステータス LED
14	ユニット識別ボタン /LED	**20**	KVM コネクタ (USB 2.0 2 個、VGA 1 個、シリアル コネクタ 1 個を装備した KVM ケーブルで使用)

詳細なシャーシ背面図

図 4 は、1 つの背面ハーフハイト PCIe ライザーを備えた HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッドサーバーノードの背面パネルの詳細を示しています。

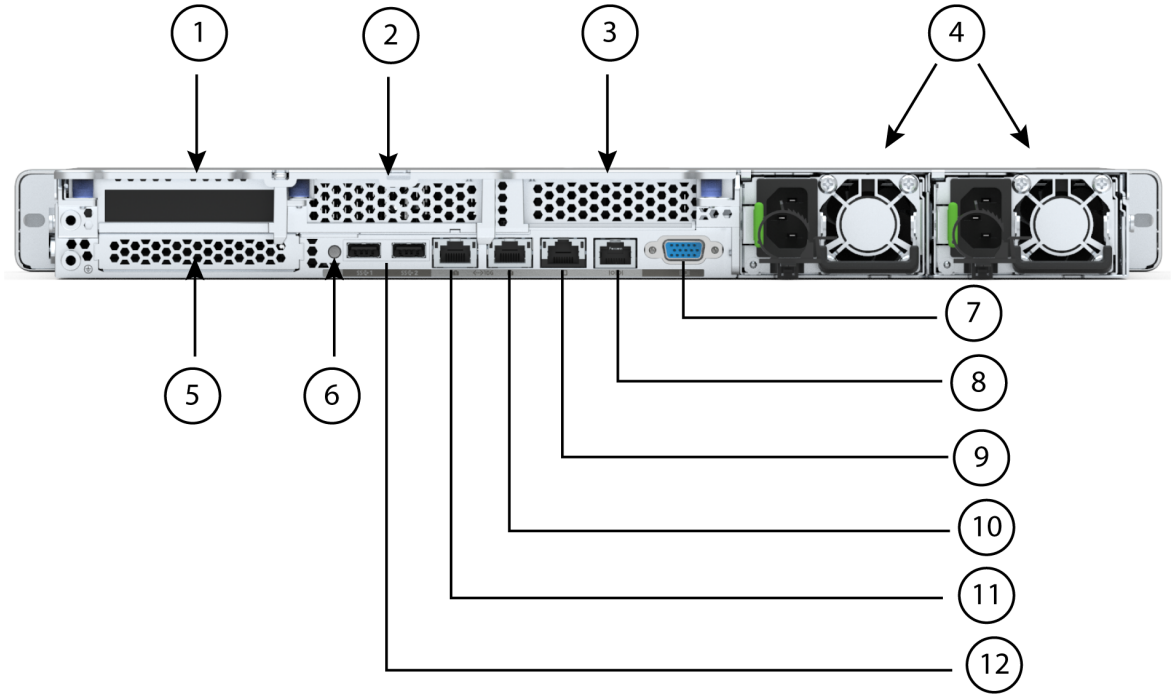
図 5 は、3 つの背面ハーフハイト PCIe ライザーを備えた HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッドサーバーノードの背面パネルの詳細を示しています。

図 6 は、2 つの背面フルハイト PCIe ライザーを備えた HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッドサーバーノードの背面パネルの詳細を示しています。

1 つのハーフハイト ライザー

注：デフォルトでは、1-CPU サーバにはハーフハイト ライザー 1 が 1 つだけ取り付けられています。2 CPU サーバは、3 つのハーフハイト ライザーをすべてサポートします。

図 4　　シャーシ背面図（ハーフハイト、長さ 3/4 の PCIe ライザー）

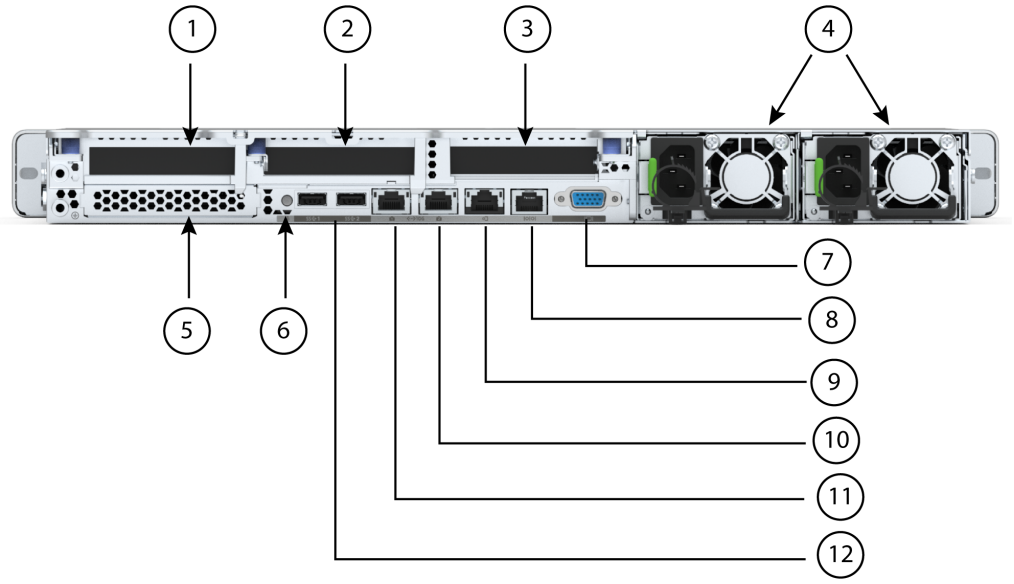


1	ライザー 1（CPU1 制御） ■ 1 つの PCIe スロットをサポート ■ スロット 1 はハーフ ハイト、長さ 3/4、x16	**7**	VGA 表示ポート (DB15 コネクタ)
2	ライザー 2 のブランク パネル	**8**	COM ポート（RJ45 コネクタ）
3	ライザー 3 ブランキング パネル	**9**	1 GbE 専用イーサネット管理ポート
4	電源装置（2、1+1 として冗長）	**10 ~ 11**	デュアル 1/10 GbE イーサネット ポート 2 基（LAN1、LAN2） LAN1 は左側のコネクタ、 LAN2 が右側のコネクタ
5	モジュール型 LAN on Motherboard（mLOM）	**12**	USB 3.0 ポート（2 個）
6	システム ID プッシュボタン /LED	**-**	-

3 つのハーフハイト ライザー

注：3 つのハーフハイト ライザーをすべてサポートするのは、2 CPU サーバーのみです。

図 5　シャーシ背面図（3 つのハーフハイト、長さ 3/4 の PCIe ライザー）

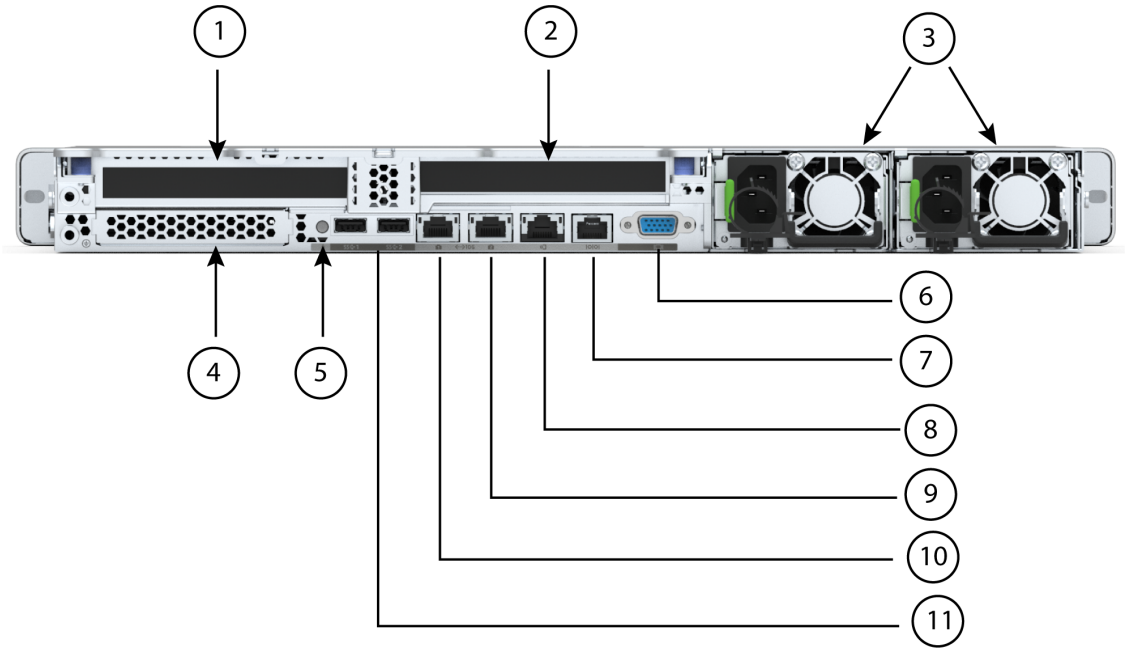


1	ライザー 1（CPU1 制御） ■ 1 つの PCIe スロット（スロット 1）をサポート ■ スロット 1 はハーフ ハイト、長さ 3/4、x16	**7**	VGA 表示ポート (DB15 コネクタ)
2	ライザー 2（CPU1 制御） ■ PCIe スロット（スロット 2 をサポートします） ■ スロット 2 はハーフハイト、長さ 3/4、x16	**8**	COM ポート（RJ45 コネクタ）
3	ライザー 3（CPU2 制御） ■ 3 つの PCIe スロット（スロット 3）をサポート ■ スロット 3 はハーフハイト、長さ 3/4、x16	**9**	1 GbE 専用イーサネット管理ポート
4	電源装置（2、1+1 として冗長）	**10 ~ 11**	デュアル 1/10 GbE イーサネットポート 2 基 （LAN1、LAN2） LAN1 は左側のコネクタ、 LAN2 が右側のコネクタ
5	モジュール型 LAN on Motherboard（mLOM）	**12**	USB 3.0 ポート（2 個）
6	システム ID プッシュボタン /LED	**-**	-

2 つのフルハイト ライザー

注：1 CPU サーバーはフルハイト ライザー 1 のみをサポートし、2 CPU サーバーは両方のフルハイト ライザーをサポートします。

図 6　　シャーシ背面図（フルハイト、長さ 3/4 の PCIe ライザー X 2）



1	ライザー 1（CPU1 制御） ■ ライザー 1 マザーボード コネクタに接続 ■ フルハイト、長さ 3/4、x16	**6**	VGA 表示ポート (DB15 コネクタ)
2	ライザー 2（CPU2 制御） ■ ライザー 3 マザーボード コネクタに接続 ■ フルハイト、長さ 3/4、x16	**7**	COM ポート（RJ45 コネクタ）
3	電源装置（2、1+1 として冗長）	**8**	1 GbE 専用イーサネット管理ポート
4	モジュール型 LAN on Motherboard（mLOM）	**9 - 10**	デュアル 1/10 GbE イーサネット ポート 2 基（LAN1、LAN2） LAN1 は左側のコネクタ、 LAN2 が右側のコネクタ
5	システム ID プッシュボタン /LED	**11**	USB 3.0 ポート（2 個）

サーバ本体の標準機能と特長

表 1 にサーバ本体の機能と特徴を示します。サーバの構成方法（プロセッサ数、ディスク ドライブ、メモリ容量など）については、*サーバの構成 (17 ページ)* を参照してください。

表 1　機能および特長

機能 / 特長	説明
シャーシ	1 ラックユニット（1RU）シャーシ
CPU	1 または 2 個の AMD® Rome®、Milan®、および Milan-X® ファミリ CPU[1]
メモリ	レジスタード DIMM（RDIMM）または低負荷 DIMM（LRDIMM）用の 32 スロット
マルチビット エラー保護	このサーバはマルチビット エラー保護をサポートします。
ビデオ	Cisco Integrated Management Controller（CIMC）は、Matrox G200e ビデオ / グラフィックス コントローラを使用してビデオを提供します。 · ハードウェア アクセラレーションを備えた内蔵 2D グラフィックスコアです。 · 組み込み DDR メモリ インターフェイスは最大 512 MB のアドレス可能メモリをサポートします（デフォルトで 8 MB がビデオ メモリに割り当てられます） · 最大 1920 X 1200 16bpp、60Hz のディスプレイ解像度をサポートします。 · 高速な内蔵 24 ビット RAMDAC · 第 1 世代の速度で動作するシングル レーン PCI-Express ホスト インターフェイス
電源サブシステム	以下のホットスワップ可能な電源ユニットから最大 2 つ選択できます。 ■ 1050 W（AC） ■ 1050 W（DC） ■ 1600 W（AC） 最低 1 台の電源ユニットが必須です。さらに 1 台を追加して 1 + 1 の冗長性を確保できます。
前面パネル	前面パネルコントローラはステータスインジケータおよびコントロールボタンを装備しています。
ACPI	このサーバーは、Advanced Configuration and Power Interface（ACPI）規格を Rome - ACPI バージョン 6.2 Milan - ACPI バージョン 6.3
ファン	ホットスワップ可能なファン（前面から背面への冷却用エアーフロー）X 8
Infiniband	InfiniBand アーキテクチャは PCI スロットで使用できます。

表 1　機能および特長　*(続き)*

機能 / 特長	説明
拡張スロット	ハーフハイト スロット X 3 ■ ライザ 1（CPU 1 で制御）： • X 16 PCIe Gen4 スロット X 1（Cisco VIC）、ハーフハイト、長さ 3/4 ■ ライザー 2（CPU 1 で制御）： • x16 PCIe Gen4 スロット X 1、ハーフハイト、長さ 3/4 ■ ライザー 3（CPU 1 で制御）： • X 16 PCIe Gen4 スロット X 1（Cisco VIC）、ハーフハイト、長さ 3/4 フルハイト ライザー スロット X 2 ■ ライザ 1（CPU 1 で制御）： • 16 PCIe Gen4 スロット X 1 、(Cisco VIC)、フルハイト、長さ 3/4 ■ ライザー 2[2]（CPU 1 で制御）： • x16 PCIe 第 4 世代スロット × 1、(Cisco VIC)、フルハイト、長さ 3/4
インターフェイス	■ 背面パネル • 1 つの 1Gbase-T RJ-45 管理ポート • RS-232 シリアル ポート（RJ45 コネクタ）x 1 • DB15 VGA コネクタ × 1 • USB 3.0 ポートコネクタ x 2 • 各種のインターフェイス カードを搭載できるフレキシブル モジュール型 LAN on Motherboard（mLOM）スロット x 1 ■ 前面パネル • KVM コンソールコネクタ x 1（USB 2.0 コネクタ x 2、VGA DB15 ビデオコネクタ x 1、シリアルポート（RS232）RJ45 コネクタ x 1 を装備）

表 1　機能および特長　*(続き)*

機能 / 特長	説明
内部ストレージ デバイス	ドライブ ストレージ： ドライブは、SAS/SATA または NVMe ドライブ用のホットスワップ可能なアクセス機能を提供する前面パネルのドライブ ベイに取り付けます。このサーバーでは 2 つの異なるバージョンを構成可能です。 **HXAF225C-M6S (All Flash):** ■ 最大 10 台の SFF SAS/SATA/NVMe ソリッド ステート ドライブ（SSD）が搭載可能。10 台のドライブは次のように使用されます。 • SAS/SATA SSD X 6 ~ 8（キャパシティ用） • 1 台の NVMe SSD **または** 1 台の SAS/SATA SSD（キャッシング用） • SAS/SATA SSD（HXDP 操作用のシステム ドライブ） **HX225C-M6S (Hybrid):** ■ 最大 10 台の SFF SAS/SATA ハード ドライブ（HDD）**および** SAS/SATA ソリッド ステート ドライブ（SSD）が搭載可能。10 台のドライブは次のように使用されます。 • SAS HDD X 6 ~ 8（キャパシティ用） • SAS/SATA SSD X 1（キャッシング用） • SAS/SATA SSD（HXDP 操作用のシステム ドライブ） 他のストレージ ■ マザーボード上のミニストレージ モジュールコネクタは、2 つの SATA M.2 SSD を保持するブート最適化 RAID コントローラキャリアをサポートします。容量の異なる SATA M.2 SSD の同時使用はサポートされません。 ■ ファームウェアおよびその他のユーザーデータのステージング用の 8GB FlexMMC ユーティリティストレージ
組み込み管理プロセッサ	Cisco Integrated Management Controller（CIMC）ファームウェアを実行するベースボード管理コントローラ（BMC）。 CIMC の設定に応じて、1GE 管理専用ポートまたは Cisco 仮想インターフェイス カード（VIC）を介して CIMC にアクセスできます。 CIMC はサーバ内の特定のコンポーネント（Cisco 12G SAS HBA など）を管理します。
ストレージコントローラ	Cisco 12G SAS HBA は専用のスロットに装着できます。一度に使用できるのは、一度に 1 つだけです。 ■ Cisco 12G SAS HBA • RAID はサポートされません • JBOD/ パススルー モードのサポート • 最大 10 台の SAS/SATA 内蔵ドライブをサポートします。 ドライブ バックプレーンに接続

表 1　機能および特長　*(続き)*

機能 / 特長	説明
モジュール型 LAN on Motherboard (mLOM)	マザーボードの mLOM 専用ロットには、次のカードを柔軟に装着できます： ■ Cisco 仮想インターフェイス カード
Intersight	Intersight は、サーバ管理機能を提供します。
CIMC	Cisco Integrated Management Controller 4.2(1) 以降

注：

1. NVMe ドライブが選択されている場合、2 CPU も選択する必要があります。
2. マザーボードには、ライザー 1、ライザー 2、ライザー 3 の 3 つの PCIe ライザー コネクタがあります。サーバに 3 つのハーフハイト ライザーが設定されている場合、ライザー 1 はライザー 1 コネクタに、ライザー 2 はライザー 2 コネクタに、ライザー 3 はライザー 3 コネクタに接続されます。サーバに 2 つのフルハイト コネクタが設定されている場合、ライザー 1 はライザー 1 コネクタに接続し、ライザー 2 はライザー 3 コネクタに接続します。詳細については、*ライザー (67 ページ)* を参照してください。

サーバの構成

Cisco HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッドサーバーノードを設定するには、次の手順に従います。

- *ステップ 1 サーバーの型番を確認するページ 18*
- *ステップ 2 展開モードを選択する (オプション) ページ 19*
- *ステップ 3 ライザーを選択するページ 20*
- *ステップ 4 CPU を選択するページ 21*
- *ステップ 5 メモリを選択するページ 23*
- *ステップ 6 ドライブ コントローラの選択ページ 28*
- *ステップ 7 ドライブを選択するページ 29*
- *ステップ 8 ハイパーフレックス接続モードの選択ページ 33*
- *ステップ 9 オプション カードを選択しますページ 34*
- *ステップ 10 オプションの PCIe オプション カード アクセサリを選択するページ 36*
- *ステップ 11 GPU カードを選択する（オプション）、ページページ 39*
- *ステップ 12 電源ユニットを注文するページ 40*
- *ステップ 13 入力電源コードを選択するページ 41*
- *ステップ 14 工具不要レール キットとオプションのリバーシブルなケーブル マネジメント アームを選択するページ 44*
- *ステップ 15 セキュリティ デバイスを選択する（オプション）ページ 45*
- *ステップ 16 ロックキー付きセキュリティ ベゼルを選択する（オプション）ページ 46*
- *ステップ 17 ハイパーバイザ / ホスト オペレーティング システムを選択するページ 47*
- *ステップ 18 HYPERFLEX データ プラットフォーム（HDXP）ソフトウェアを選択するページ 48*
- *ステップ 19 CISCO INTERSIGHT ページ 49*
- *ステップ 20 サービスおよびサポート レベルを選択するページ 50*

ステップ 1　サーバーの型番を確認する

表 2　主要ラインのバンドル（MLB）の PID

製品 ID（PID）	説明
HX-M6-MLB	HX/HXAF M6 MLB この主要ラインバンドル（MLB）は、Intersight および HXDP ソフトウェアスペア PID と HyperFlex All Flash およびハイブリッドサーバーノードで構成されています。

サーバのベース型番 ID（PID）を確認します（*表 3* を参照）。

表 3　HyperFlex HX225C M6S All Flash の PID およびハイブリッドベースサーバノード

製品 ID（PID）	説明
HXAF225C-M6S[1]	Cisco HyperFlex HX225 M6 All Flash サーバノードは、CPU、メモリ、SSD、PCIe カード、または電源なしで最大 10 台の SFF 前面ドライブです。
HX225C-M6S[1]	Cisco HyperFlex HX225 M6 Hybrid サーバ ノードは、CPU、メモリ、HDD、PCIe カード、または電源なしで最大 10 台の SFF 前面ドライブです。

注：

1. この型番は、承認済みバンドル以外で購入することはできません（MLB で注文する必要があります）

Cisco HyperFlex HX225C M6S All Flash およびには、電源ユニット、CPU、DIMM メモリ、ハードディスク ドライブ（HDD）、ソリッド ステート ドライブ（SSD）、NVMe ドライブ、ライザー 1、ライザー 2、ライザー 3、工具レス レール キット、オプションカードは含まれません。

注：以降の手順に従い、必要なコンポーネントをサーバに追加してください。

ステップ 2　展開モードを選択する (オプション)

HyperFlex 5.0（2a）以降、次の 2 つの展開オプションがサポートされています

展開モードを選択します

使用可能な展開モードは次のとおりです *表 4*。

表 4　使用モード

製品 ID（PID）	説明
HX-DC-FI	展開モード選択 FI で Hyperflex を使用するための PID
HX-DC-NO-FI	展開モード選択 FI なしで Hyperflex を使用するための PID

- **ファブリック インターコネクトを備えた HX データセンター** - この展開オプションは、サーバを Cisco ファブリック インターコネクトに接続します。このタイプの展開のインストールは、スタンドアロン インストーラーを使用するか、Intersight から実行できます。この展開モードは、HyperFlex のローンチ以来サポートされています。
- **ファブリック インターコネクトのない HX データ センター** - この展開オプションでは、サーバー ノードを既存のスイッチに直接接続できます。このタイプの展開のインストールは、Intersight からのみ実行できます。

  次の点に注意してください。

  - SED ドライブはサポートされません。
  - Hyper-V サポートなし
  - PMem のサポートなし
  - 追加の PCIe Cisco VIC のサポートなし
  - ストレッチ クラスタのサポートなし
  - アプリケーション アクセラレーション エンジンのサポートなし

したがって、このオプションを選択すると、注文時にサポートされていないオプションがグレー表示されます

注：

- 何も選択しない場合、展開モードは DC と FI であると見なされます。

ステップ 3　ライザーを選択する

ライザーの PID が *表 5* に表示されます。フルハイトライザーとハーフハイトライザーを混在させることはできません。

表 5　ライザーおよびライザー ブランクの PID

製品 ID（PID）	説明
デフォルトで含まれています（PID なし）	ハーフハイト ライザー 1（CPU1 で制御） ■ ライザー 1：x16 PCIe Gen4 ライザー X 1、Cisco VIC、ハーフハイト、長さ 3/4 をサポート
UCSC-R2R3-C220M6	2 つのハーフハイト ライザー（ライザー 2 および 3）を含むキット： ■ ライザー 2：x16 PCIe Gen4 ライザー X 1、ハーフハイト、長さ 3/4 ■ ライザー 3：x16 PCIe Gen4 ライザー X 1、Cisco VIC、ハーフハイト、長さ 3/4 をサポート
HX-GPURKIT-C220	GPU 取り付けブラケットと次のライザー（ライザー 1 および 2）を含むキット： ■ ライザー 1：1 つの x16 PCIe Gen4 ライザー、Cisco VIC、フルハイト、3/4 長さをサポート ■ ライザー 2：1 つの x16 PCIe Gen4 ライザー、Cisco VIC、フルハイト、3/4 長さをサポート
UCSC-FBRS-C220 M6	ライザー 2 およびライザー 3 のブランク パネル

- ライザーを注文しない場合、システムはデフォルトで、表に示すハーフハイト ライザーを 1 つ自動的に含めます。
- PID UCSC-R2R3-C220M6 を注文すると、システムには 3 つのハーフハイト ライザー（ライザー 1、ライザー 2、およびライザー 3）が含まれます。
- PID HX-GPURKIT-C220 を注文すると、システムには 2 つのフルハイト ライザー（ライザー 1 およびライザー 2）が含まれます。

動作確認済みの構成

(1) ハーフハイト ライザー 1 のみ（CPU1 から制御）。これはデフォルトであり、自動的に含まれます。

(2) ハーフハイト ライザー 1、2、および 3 のみ。すべてのライザーは CPU1 から制御されます。

(3) フルハイトライザー 1 および 2 のみ（CPU1 から制御）。

ステップ 4　CPU を選択する

CPU の標準機能は次のとおりです。

- AMD® Rome®、Milan®、および Milan-X® ファミリ CPU
- Infinity ファブリックインターコネクトを使用した CPU 間通信
- 最大 768 MB のキャッシュ サイズ
- 最大 64 コア

CPU を選択する

使用できる CPU を *表 6* に示します

表 6　使用可能な CPU

製品 ID（PID）[1]	クロック周波数 GHz	消費電力 (W)	L3 キャッシュサイズ (MB)	コア	サポートする DDR4 DIMM の最大クロック（MHz）[2]
Milan プロセッサ					
HX-CPU-A7763	2.45	280	256	64	3200
HX-CPU-A7713	2.00	225	256	64	3200
HX-CPU-A7713P	2.00	225	256	64	3200
HX-CPU-A7663	2.00	225	256	56	3200
HX-CPU-A7643	2.30	225	256	48	3200
HX-CPU-A7543	2.80	225	256	32	3200
HX-CPU-A7543P	2.80	225	256	32	3200
HX-CPU-A7513	2.60	200	128	32	3200
HX-CPU-A75F3	2.95	280	256	32	3200
HX-CPU-A7413	2.65	180	128	24	3200
HX-CPU-A7453	2.75	180	64	28	3200
HX-CPU-A7443	2.85	200	128	24	3200
HX-CPU-A7443P	2.85	200	128	24	3200
HX-CPU-A74F3	3.20	240	256	24	3200
HX-CPU-A7343	3.20	190	128	16	3200
HX-CPU-A7313	3.00	155	128	16	3200
HX-CPU-A7313P	3.00	155	128	16	3200
HX-CPU-A73F3	3.50	240	256	16	3200
HX-CPU-A72F3	3.70	180	256	8	3200
Milan-X プロセッサ					
HX-CPU-A7773X	2.20	280	768	64	3200
HX-CPU-A7573X	2.80	280	768	32	3200
HX-CPU-A7473X	2.80	240	768	24	3200
HX-CPU-A7373X	3.05	240	768	16	3200

表 6　使用可能な CPU

製品 ID（PID）[1]	クロック周波数 GHz	消費電力（W）	L3 キャッシュサイズ（MB）	コア	サポートする DDR4 DIMM の最大クロック（MHz）[2]
Rome プロセッサ					
HX-CPU-A7662	2.00	225	256	64	3200
HX-CPU-A7532	2.40	200	256	32	3200
HX-CPU-A7502P	2.50	180	128	32	3200
HX-CPU-A7352	2.30	155	128	24	3200
HX-CPU-A7302	3.00	155	128	16	3200
HX-CPU-A7282	2.80	120	64	16	3200
HX-CPU-A7272	2.90	120	64	12	3200
HX-CPU-A7262	3.20	155	128	8	3200
HX-CPU-A7252	3.10	120	64	8	3200
HX-CPU-A7232P	3.10	120	32	8	3200

注：

1.「P」で終わる CPU PID は、2 CPU システムでは使用できません。これらは 1 CPU システムでのみ使用できます。
2. 一部の CPU について、*表 7 (23 ページ)* に示すメモリアクセス速度よりも高速または低速な DIMM を選択した場合、DIMM のクロック速度は、CPU 側のメモリアクセスクロックと DIMM クロックのうちの低い方になります。

動作確認済みの構成

(1) 1 CPU 構成：

- *表 6 使用可能な CPU ページ 21* のいずれかの行から CPU を 1 つ選択します。

(2) 2 CPU 構成：

- 次のいずれかの行から同一仕様の CPU を 2 つ選択します。*表 6 使用可能な CPU ページ 21*

注：

- 2 CPU 構成では、サフィックスが「P」で終わる 2 つの CPU は使用できません。
- 1 つの CPU に接尾辞「P」が付いたサーバを設定する場合、これらの CPU を 2 つ搭載した 2 CPU システムにアップグレードすることはできません。

注意事項

- 選択する 1 つまたは 2 つの CPU は、必要なサーバの機能に応じて異なります。次の項を参照してください。
  - *ステップ 5 メモリを選択するページ 23*
  - *ステップ 6 ドライブ コントローラの選択ページ 28*
  - *ステップ 7 ドライブを選択するページ 29*
  - *ステップ 8 ハイパーフレックス接続モードの選択ページ 33*

ステップ 5　メモリを選択する

Cisco HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッドサーバーノードで使用可能なメモリの主な特性は次のとおりです。

- クロック速度：3200 MHz
- DIMM あたりのランク：1、2、4、または 8
- 動作時の電圧：1.2 V
- Registered ECC DDR4 DIMM（RDIMM）または Load Reduced DIMM（LRDIMM）。

メモリは、CPU あたり 8 個のメモリ チャネルと、チャネルあたり 1 個または 2 個の DIMM（DPC）で構成されます。

DIMM の選択

表 7 に、サポートされる DIMM を示します。

表 7　使用可能な DDR4 DIMM

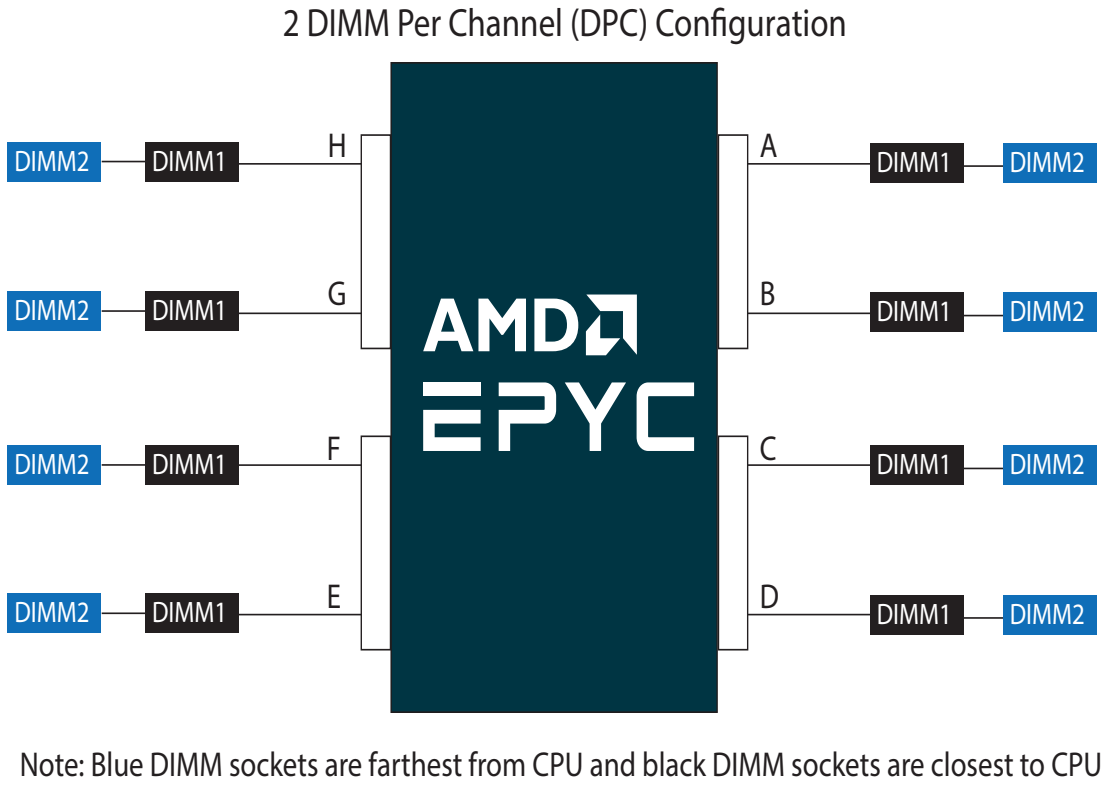
製品 ID（PID）	PID の説明	Voltage	ランク/DIMM
3200-MHz DIMMs			
HX-MR-X16G1RW	16 GB RDIMM SRx4 3200（8Gb）	1.2 V	1
HX-MR-X32G1RW	32GB RDIMM SRx4 3200 (16Gb)	1.2 V	1
HX-MR-X32G2RW	32 GB RDIMM DRx4 3200（8Gb）	1.2 V	2
HX-MR-X64G2RW	64 GB RDIMM DRx4 3200（16Gb）	1.2 V	2
HX-ML-128G4RW	128 GB LRDIMM QRx4 3200（16Gb）（非 -3DS）	1.2 V	4
DIMM ブランク[1]			
UCS-DIMM-BLK	UCS DIMM ブランク		

注：

1. 適切な冷却エアーフローを維持するために、空の DIMM スロットに DIMM ブランクを取り付ける必要があります。

図 7 は、1 つまたは 2 つの DPC でサポートされる 8 チャネル構成です。

図 7　　8 チャネル メモリ構成



動作確認済みの構成

(1) 1 CPU（CPU1）装着

- 1 CPU システムには、4、6、8、10、12、14、または 16 の DIMM を選択します。
- 4 つの DIMM 構成は、8 つのチャネルを実装できない場合、および 128MB 以下の L3 キャッシュを備えたプロセッサでのみ許可されます。

DIMM は、次の表に示すように、出荷時に配置されます。

システムあたりの合計 DIMM 数	チャネル内 の CPU DIMM 配置 （ 同一 速度の DIMM)
4	(C2, D2); (G2, H2)
6	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2)
8	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2); (B2, F2)
10	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2); (B2, F2); (D1, E1)
12	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2); (B2, F2); (D1, E1); (B1, G1)
14	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2); (B2, F2); (D1, E1); (B1, G1); (C1, F1)
16	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2); (B2, F2); (D1, E1); (B1, G1); (C1, F1); (A1, H1)

(2) 2 CPU（CPU1 および CPU2）装着

- 2 CPU システムには、8、12、16、20、24、28、32 DIMM を選択します。
- 8 つの 2 CPU システム専用 DIMM 構成は、16 個のチャネルを実装できない場合、および 128MB 以下の L3 キャッシュを備えたプロセッサでのみ許可されます。

DIMM は、次の表に示すように、出荷時に配置されます。

システムあたりの合計 DIMM 数	チャネル内 の CPU DIMM 配置 (同一 速度の DIMM)	チャネル内 の の CPU 2 DIMM 配置（同一速度 の DIMM)
8	(C2, D2); (G2, H2)	(C2, D2); (G2, H2)
12	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2)	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2)
16	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2); (B2, F2)	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2); (B2, F2)
20	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2); (B2, F2); (D1, E1)	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2); (B2, F2); (D1, E1)
24	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2); (B2, F2); (D1, E1); (B1, G1)	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2); (B2, F2); (D1, E1); (B1, G1)
28	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2); (B2, F2); (D1, E1); (B1, G1); (C1, F1)	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2); (B2, F2); (D1, E1); (B1, G1); (C1, F1)
32	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2); (B2, F2); (D1, E1); (B1, G1); (C1, F1); (A1, H1)	(C2, D2); (G2, H2); (A2, E2); (B2, F2); (D1, E1); (B1, G1); (C1, F1); (A1, H1)

注：システム パフォーマンスは、両方の CPU で DIMM のタイプと数量が同じで、すべてのチャネルがサーバ内の CPU 全体で等しく利用されている場合に最適化されます。

表 8 (26 ページ) は *表 9 (26 ページ)* によりさまざまな DIMM の最大 DRAM 速度を指定します。

表 8 チャネルあたり 1 DIMM のメモリ速度（1 DPC）

DIMM タイプ	DIMM 装着順序	最大 DRAM 周波数（MHz）
	DIMM0	
RDIMM	1 ランク	3200
	2 ランク	3200
LRDIMM	4 ランク	3200

表 9 チャネルあたり 2 DIMM のメモリ速度（2DPC）

DIMM タイプ	DIMM 装着順序		最大 DRAM 周波数（MHz）
	DIMM0	DIMM1	
RDIMM	1 ランク	1 ランク	2933
	1 ランク	2 ランク	2933
	2 ランク	2 ランク	2933
LRDIMM	4 ランク	4 ランク	2933

DIMM ルール

- DIMM 混合：
  - サーバー内で異なるタイプの DIMM (RDIMM と LRDIMM) を混在させることはサポートされていません。
  - RDIMM タイプと RDIMM タイプの混合は、バランスの取れた構成で同じ量で混合されている場合に許可されます。
  - 32GB、および 64GB RDIMM の混在がサポートされています。メモリを混在させる場合は、すべてのメモリ スロットに装着することを推奨します。
  - 128 GB LRDIMM は他の RDIMM を組み合わせることはできません。
- 一般的な装着ガイドライン
  - 最適なパフォーマンスを得るには、各 CPU ソケットに 8 個のメモリ チャネルすべてを装着し、各チャネルの容量を同じにします。
  - 特定のチャネルに 2 つの DIMM を装着する前に、オープン チャネルを装着します。
  - 1 つの DIMM のみがチャネルに装着される 2 DPC 構成では、プロセッサから物理的に最も離れた位置に DIMM ソケットを装着します。
  - 特定の CPU のチャネル ペアごとにメモリ容量のバランスをとります。
  - 2 ソケット システムの CPU ソケットあたりのメモリ容量のバランス。
  - 同じチャネル内の DIMM は、同じベース DIMM モジュールタイプ（すべての RDIMM、LRDIMM）である必要があります。
  - 同じチャネル内の DIMM は、同じベース DIMM モジュールタイプ（すべての RDIMM または LRDIMM）である必要があります。
  - すべてのメモリ チャネルは同じ周波数で動作します。異なる速度の DIMM を装着した場合、システムはサポートされる最も一般的な周波数を使用します。サポートされる共通の最高速度は、システムで最も低速な DIMM の定格速度で、設定に装着速度制限も適用します（1/1、1/2、2/2)。

ステップ 6　ドライブ コントローラの選択

次のリストは、サーバでのドライブの制御方法をまとめたものです。

- SAS/SATA ドライブは、Cisco 12G SAS HBA を介して制御されます
- NVMe PCIe ドライブは CPU から直接制御されます。

Cisco 12G SAS HBA

Cisco 12G SAS HBA は、3 Gbs、6 Gbs、および 12 Gbs で動作する最大 10 台の SAS または SATA ドライブをサポートします。JBOD またはパススルー モード（RAID ではない）をサポートし、専用スロットに直接接続します。

RAID コントローラ オプションの選択

次のことを選択します。

- 1 台の Cisco 12G SAS HBA（*表 10* を参照）

表 10 ハードウェア コントローラ オプション

製品 ID（PID）	PID の説明
内蔵ドライブ用コントローラ **Cisco 12G SAS HBA を選択すると、ドライブのバックプレーン コネクタに装着された状態で出荷される点に注意。**	
HX-SAS-220M6	Cisco 12G SAS HBA ■ 最大 10 台の内蔵 SAS HDD と SAS/SATA SSD をサポートします。 ■ JBOD またはパススルー モードをサポート

動作確認済みの構成

- Cisco 12G SAS HBA は、JBOD をサポートする最大 10 個の内蔵ドライブをサポートします。

ステップ 7　ドライブを選択する

ディスク ドライブの標準仕様は次のとおりです。

- 2.5 インチ スモール フォーム ファクタ
- ホットプラグ可能
- ドライブはスレッド マウントされた状態で提供

ドライブの選択 - HXAF225C-M6S（All Flash）

データセンターの展開モデル

注：ファブリック インターコネクトを使用しないデータセンター展開モード (HX-DC-no-FI) は、**SED** ドライブをサポートしません。詳細については、「*ステップ 2*」を参照してください。

使用できるドライブを次に示します*表 11*。

表 11 選択可能なホットプラグ可能スレッドマウント ドライブ

製品 ID（PID）	PID の説明	ドライブ タイプ	容量
フロント キャパシティ ドライブ			
HX-SD960G6S1X-EV	960 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6 G SATA SSD	SATA	960 GB
HX-SD19T6S1X-EV	1.9 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6 G SATA SSD	SATA	1.9 TB
HX-SD38T6S1X-EV	3.8 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6 G SATA SSD	SATA	3.8 TB
HX-SD76T6S1X-EV	7.6TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD	SATA	7.6 TB
フロント キャッシュ ドライブ			
HX-NVMEXPB-I375	375GB 2.5 インチ Intel Optane NVMe Extreme Performance SSD	NVMe	375 GB
HX-NVMEM6-W1600	1.6TB 2.5in U.2 WD SN840 NVMe Extreme Perf. 高耐久性	NVMe	1.6 TB
HX-SD800GS3X-EP	800 GB 2.5 インチ Enterprise Performance 12G SAS SSD（3 倍の耐久性）	SAS	800 GB
前面システム ドライブ			
HX-SD240GM1X-EV	240 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6 G SATA SSD	SATA	240 GB
ブートドライブ			
HX-M2 ~ 240 GB	240GB SATA M.2	SATA	240 GB
HX-M2-HWRAID	Cisco ブート最適化 M.2 Raid コントローラ		
注：シスコではさまざまなベンダーのソリッドステートドライブ（SSD）を使用しています。すべてのソリッド ステート ドライブ（SSD）は、物理的な書き込み制限の影響を受け、設定されている最大使用制限仕様は製造元によって異なります。シスコでは、シスコまたは製造元によって設定された最大使用仕様を超えたソリッド ステート ドライブ（SSD）をシスコ単独の判断では交換しません。			

動作確認済みの構成

- 6 ~ 8 台のキャパシティ ドライブ

注：

- クラスタスケール関連の情報については、製品の **リリース ノートを参照してください**。

- 1 台のキャッシュ ドライブ：

注：

- NVMe ドライブとともに前面のドライブを構成する場合は、NVMe ケーブル (PID = CBL-FNVME-220M6) とドライブを選択する必要があります。

- 1 台のシステム ドライブ：
- 1 台のブート ドライブ：

注：

- ブートに最適化された RAID コントローラには、2 台の同一の M.2 SATA SSD を注文します。容量の異なる M.2 SATA SSD を混在させることはできません。
- M.2 SATA SSD をブート専用デバイスとして使用することをお勧めします。
- ブート最適化 RAID コントローラは、VMware、Windows、および Linux オペレーティング システムをサポートします。
- このコントローラをサポートする Cisco IMC および Cisco UCS Manager のバージョンは 4.2(1) 以降です。ソフトウェアのコントローラ名は MSTOR です。
- CIMC/UCSM は、ボリュームの設定とコントローラおよび取り付け済みの SATA M.2 のモニタリングに対応しています。
- SATA M.2 ドライブは UEFI モードでのみ起動できます。レガシ ブート モードはサポートされていません。
- ホットプラグの交換はサポートされていません。サーバの電源をオフにする必要があります。
- HyperFlex の構成でサーバをコンピューティング ノードとして使用する場合、ブート最適化 RAID コントローラ モジュールはサポートされます。
- マザーボード上のモジュール コネクタの位置については、*図 13、(66 ページ)*を参照してください。このコネクタは、ブートに最適化された RAID コントローラを受け入れます。

ドライブの選択 - HX225C-M6S（Hybrid）

データセンターの展開モデル
注：ファブリック インターコネクトを使用しないデータセンター展開モード (HX-DC-no-FI) は、**SED** ドライブをサポートしません。詳細については、「*ステップ 2*」を参照してください。

使用できるドライブを *表 12* に示します。

表 12 選択可能なホットプラグ可能スレッドマウント ドライブ

製品 ID（PID）	PID の説明	ドライブ タイプ	容量
フロント キャパシティ ドライブ			
HX-HD12TB10K12N	1.2 TB 12G SAS 10K RPM SFF HDD	SAS	1.2 TB
HX-HD18TB10K4KN	1.8 TB 12G SAS 10K RPM SFF HDD（4K）	SAS	1.8 TB
HX-HD24TB10K4KN	2.4TB 12G SAS 10K RPM SFF HDD（4K）	SAS	2.4 TB
フロント キャッシュ ドライブ			
HX-SD480G63X-EP	480 GB 2.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD（3 倍の耐久性）	SATA	480 GB
HX-SD800GS3X-EP	800 GB 2.5 インチ Enterprise Performance 12G SAS SSD（3 倍の耐久性）	SAS	800 GB
前面システム ドライブ			
HX-SD240GM1X-EV	240 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6 G SATA SSD	SATA	240 GB
ブートドライブ			
HX-M2 ~ 240 GB	240GB SATA M.2	SATA	240 GB
HX-M2-HWRAID	Cisco ブート最適化 M.2 Raid コントローラ		
注：シスコではさまざまなベンダーのソリッドステートドライブ（SSD）を使用しています。すべてのソリッド ステート ドライブ（SSD）は、物理的な書き込み制限の影響を受け、設定されている最大使用制限仕様は製造元によって異なります。シスコでは、シスコまたは製造元によって設定された最大使用仕様を超えたソリッド ステート ドライブ（SSD）をシスコ単独の判断では交換しません。			

動作確認済みの構成

- 6 ~ 8 台のキャパシティ ドライブ

注：

- クラスタスケール関連の情報については、製品の **リリース ノートを参照してください**。

- 1 台のキャッシュ ドライブ：
- 1 台のシステム ドライブ：
- 1 台のブート ドライブ：

注：

- ブートに最適化された RAID コントローラには、2 台の同一の M.2 SATA SSD を注文します。容量の異なる M.2 SATA SSD を混在させることはできません。
- M.2 SATA SSD をブート専用デバイスとして使用することをお勧めします。
- ブート最適化 RAID コントローラは、VMware、Windows、および Linux オペレーティング システムをサポートします。
- このコントローラをサポートする Cisco IMC および Cisco UCS Manager のバージョンは 4.2(1) 以降です。ソフトウェアのコントローラ名は MSTOR です。
- CIMC/UCSM は、ボリュームの設定とコントローラおよび取り付け済みの SATA M.2 のモニタリングに対応しています。
- SATA M.2 ドライブは UEFI モードでのみ起動できます。レガシ ブート モードはサポートされていません。
- ホットプラグの交換はサポートされていません。サーバの電源をオフにする必要があります。
- HyperFlex の構成でサーバをコンピューティング ノードとして使用する場合、ブート最適化 RAID コントローラ モジュールはサポートされます。
- マザーボード上のモジュール コネクタの位置については、*図 13、(66 ページ)*を参照してください。このコネクタは、ブートに最適化された RAID コントローラを受け入れます。

ステップ 8　ハイパーフレックス接続モードの選択

HyperFlex 5.0(2a) 以降、次の 2 つの接続オプションがサポートされています

接続モードを選択

使用可能な接続モードは次のとおりです *表 13*。

表 13 接続モード

製品 ID（PID）	説明
HX-VIC- モード	Hyperflex VIC 接続モード
HX-NIC- モード[1]	Hyperflex NIC 接続モード

注：

1. NIC 接続モードには、展開モード オプション（HX-DC-NO-FI）の選択が必要です。最小 4 つの NIC ポートが必要です。NIC モードが選択され、**R2 スロット 5 x16** からダブル幅 GPU が選択されている場合、**R2 スロット 4 x8 PCIe NIC** オプションからクアッド ポート PID を選択する必要があり、**R2 スロット 6 x8 PCIe NIC オプションから選択することはできません。**

表 14 接続モードで使用可能なカード

製品 ID（PID）	説明
HyperFlex VIC 接続モード	
HX-M-V25-04	Cisco UCS VIC 1467 クァッド ポート 10/25G SFP28 mLOM
HX-M-V100-04	Cisco UCS VIC 1477 デュアル ポート 40/100G QSFP28 mLOM
HyperFlex NIC 接続モード	
R2 スロット 4 x8 PCIe NIC	
HX-PCIE-ID10GF	Intel X710 デュアルポート 10G SFP+
HX-PCIE-IQ10GF	Intel X710 クアッド ポート 10G SFP+ NIC
HX-P-I8D25GF	Cisco-Intel E810XXVDA2 2x25/10 GbE SFP28 PCIe NIC
R2 スロット 6 x8 PCIe NIC	
HX-PCIE-ID10GF	Intel X710 デュアルポート 10G SFP+
HX-PCIE-IQ10GF	Intel X710 クアッド ポート 10G SFP+ NIC
HX-P-I8D25GF	Cisco-Intel E810XXVDA2 2x25/10 GbE SFP28 PCIe NIC

ステップ 9　オプション カードを選択します

最新のサーバ互換性については、https://ucshcltool.cloudapps.cisco.com/public/ にあるハードウェアとソフトウェアの互換性リスト（HCL）を確認してください。

標準搭載されるカードは、次のとおりです。

- モジュール型 LAN on Motherboard（mLOM）
- 仮想インターフェイスカード（VIC）
- ネットワーク インターフェイス カード（NIC）

オプション カードを選択する

使用可能なオプション カードを *表 15* に示します。

データセンターの展開モデル

注：

- ファブリック インターコネクト（HX-DC-no-FI）を使用しないデータ センター展開モードは、HX-PCIE-C25Q-04 をサポートしません。詳細については、「*ステップ 2*」を参照してください。
- HX-M-V100-04 では、ファブリック インターコネクト（DC-no-FI）を使用しないデータセンター展開モードに HXDP 5.0（2a）以降が必要です。

表 15 使用可能な PCIe オプション カード

製品 ID（PID）	PID の説明	参照先	カード サイズ[1]
仮想インターフェイス カード（VIC）			
HX-PCIE-C100-04	Cisco UCS VIC 1495 デュアル ポート 40/100G QSFP28 CNA PCIe	ライザー 1、2、または 3	HHHL、SS
HX-PCIE-C25Q-04	Cisco UCS VIC 1455 クァッド ポート 10/25G SFP28 PCIe	ライザー 1、2、または 3	HHHL、SS
ネットワーク インターフェイス カード（NIC）			
1 Gb NIC			
HX-PCIE-IRJ45	Intel i350 クアッドポート 1Gb アダプタ	ライザー 1、2、または 3	HHHL、SS
10 Gb NIC			
HX-PCIE-ID10GF	Intel X710-DA2 デュアル ポート 10Gb SFP+ NIC	ライザー 1、2、または 3	HHHL、SS
HX-PCIE-IQ10GF	Intel X710 クアッド ポート 10G SFP+ NIC	ライザー 1、2、または 3	HHHL、SS
HX-P-ID10GC	Cisco-Intel X710T2LG 2x10 GbE RJ45 PCIe NIC	ライザー 1、2、または 3	HHHL、SS
25 Gb NIC			
HX-P-I8D25GF	Cisco-Intel E810XXVDA2 2x25/10 GbE SFP28 PCIe NIC	ライザー 1、2、または 3	HHHL、SS
HX-P-I8Q25GF[2]	Cisco-Intel E810XXVDA4L 4x25/10 GbE SFP28 PCIe NIC	ライザー 1 または 2	FHHL、SS

注：

1. HHHL = ハーフハイト、ハーフレングス。FHHL = フルハイト、ハーフレングス。SS = シングルスロット。DS = ダブルスロット。
2. HX-P-I8Q25GF を選択した場合は、HX-GPURKIT-C220 PID を選択する必要があります

動作確認済みの構成

- 3 ライザー システム（ライザー 1、ライザー 2、およびライザー 3 が取り付けられている場合）には、最大 3 つの PCIe オプション カードを選択できます。

注意事項

- ライザー 1 および 2 を使用して、2 枚のプラグイン PCIe VIC カードを 2 CPU システムに装着できます。さらに、mLOM VIC カードをシャーシ背面の mLOM スロットに装着するように選択することも可能です。これにより、3 枚の VIC カードを同時に使用できます。プラグイン カードと mLOM VIC カードの選択については、*表 15（34 ページ）* を参照してください。*表 1（13 ページ）* も参照してください。
- 選択したカードにオペレーティングシステムが対応しているかどうか、またシスコ価格表に記載されていない追加カードが HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッドサーバーノードに対応するかどうかを確認するには、次の URL のハードウェア互換性リストを参照してください。
  http://www.cisco.com/en/US/products/ps10477/prod_technical_reference_list.html

ステップ 10　オプションの PCIe オプション カード アクセサリを選択する

- これらの光ファイバおよびケーブルは、互換性がテストされており、イーサネット ネットワーク アダプタでの使用が承認されています（この文書の発行時点）。最新のアップデートについては、https://tmgmatrix.cisco.com で Cisco 互換性マトリックスを確認して参照してください。
- VIC 1455、VIC 1467、VIC 1495 および VIC 1477 でサポートされる光ファイバとケーブルの一覧については、次のリンクにある VIC 1300 および VIC 1400 シリーズのデータシートを参照してください。
  - https://www.cisco.com/c/en/us/products/servers-unified-computing/HX-b-series-blade-servers/datasheet-listing.html
  - https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/unified-computing-system-adapters/datasheet-c78-741130.html
  - https://www.cisco.com/c/en/us/products/interfaces-modules/HX-virtual-interface-card-1387/index.html
  - https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/interfaces-modules/unified-computing-system-adapters/datasheet-c78-734727.html

選択

- **NIC とシスコケーブル / 光ファイバの相互運用性（*表 16　(36 ページ)* ~ *表 17　(37 ページ)*）。**
- **NIC と Intel ケーブル / 光ファイバの相互運用性（*表 18　(38 ページ)*）。**

表 16　10G NIC と Cisco ケーブル / 光ファイバの相互運用性

Cisco 製品 ID（PID）	HX- PCIE-ID10GF	HX- PCIE-IQ10GF	HX- P-ID10GC
シスコ直接接続ケーブル（DAC）			
SFP-H10GB-CU1M	✓	✓	
SFP-H10GB-CU3M	✓	✓	
SFP-H10GB-CU5M	✓	✓	
SFP-H10GB-ACU7M	✓	✓	
SFP-H10GB-ACU10M	✓	✓	
SFP-10G-AOC1M	✓	✓	
SFP-10G-AOC2M	✓	✓	
SFP-10G-AOC3M	✓	✓	
SFP-10G-AOC5M	✓	✓	
SFP-10G-AOC7M	✓	✓	
SFP-10G-AOC10M	✓	✓	
UTP/RJ45			✓
シスコ光トランシーバ			
SFP-10G-SR	✓	✓	

表 16 10G NIC と Cisco ケーブル / 光ファイバの相互運用性 *（続き）*

Cisco 製品 ID（PID）	HX- PCIE-ID10GF	HX- PCIE-IQ10GF	HX- P-ID10GC
SFP-10G-SR-S	✓	✓	
SFP-10G-LR	✓	✓	
SFP-10G-LR-S	✓	✓	
GLC-SX-MMD	✓	✓	

表 17 25G NIC と Cisco ケーブル / 光ファイバの相互運用性

Cisco 製品 ID（PID）	HX-P-I8Q25GF	HX-P-I8D25GF
シスコ直接接続ケーブル (DAC)		
SFP-H10GB-CU1M	✓	✓
SFP-H10GB-CU3M	✓	✓
SFP-H10GB-CU4M		
SFP-H10GB-CU5M	✓	✓
SFP-H10GB-ACU7M		
SFP-H10GB-ACU10M		
SFP-10G-AOC7M	✓	✓
SFP-10G-AOC10M		
SFP-25G-AOC10M	✓	✓
SFP-25G-AOC5M		
SFP-25G-AOC7M		
QSFP-4SFP25G-CU2M	✓	✓
SFP-H25G-CU1M	✓	✓
SFP-H25G-CU2M	✓	✓
SFP-H25G-CU2.5M		
SFP-H25G-CU3M	✓	✓
SFP-H25G-CU4M		
SFP-H25G-CU5M	✓	✓
シスコ光トランシーバ		
SFP-10G-SR	✓	✓
SFP-10G-SR-S	✓	✓
SFP-10G-LR	✓	✓
SFP-25G-SR-S	✓	✓
SFP-10/25G-LR-S	✓	✓
SFP-10/25G-CSR-S	✓	✓

表 18 NIC と Intel ケーブル / 光ファイバの相互運用性

Intel 製品 ID（PID）	HX-PCIE-ID10GF	HX-PCIE-IQ10GF
Intel 直接接続ケーブル（DAC）		
XDACBL1M	✓	✓
XDACBL3M	✓	✓
XDACBL5M	✓	✓
Intel 光トランシーバ		
E10GSFPSR	✓	✓
E10GSFPLR	✓	✓

前述の表情報は、Cisco Transceiver Module Group（TMG）およびベンダーによって実施されたテストに基づいています。光モジュールおよび DAC との最新の互換性については、https://tmgmatrix.cisco.com/ を参照してください。

その他の接続オプションについては、次のリンクを参照してください。

Intel：	Marvell/QLogic 社：	Mellanox：
製品ガイド	41000 シリーズ相互運用性マトリックス	ファームウェア リリース ノート
速度に関するホワイト ペーパー	45000 シリーズ相互運用性マトリックス	

ステップ 11 GPU カードを選択する（オプション）、ページ

GPU オプションの選択

使用可能な GPU PCIe オプションを *表 19* に示します。

表 19 選択可能な PCIe GPU カード[1]

製品 ID（PID）	PID の説明	カード サイズ	ノードあたりの最大カード数
HX-GPU-T4-16	NVIDIA T4 PCIE 75W 16GB	HHHL、シングル幅	3

注：

1. 詳細については、https://www.cisco.com/content/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/c/hw/c220m6/install/c220m6.html を参照してください。

注：

- CIMC および UCSM 管理では固有の SBIOS ID が必要になるため、GPU カードはすべてシスコから購入してください。

注意事項

- GPU を組み合わせることはできません。
- 最大 3 台の T4 GPU の場合、3x ハーフ スロット ライザーを選択する必要があります。
- GPU は、フルハイトの PCIe ライザー 1 または 2（または両方）に取り付けるか、3 つのハーフハイトのライザー 1、2、または 3 に取り付けることができます。

ステップ 12 電源ユニットを注文する

電源ユニットは、M6 HX シリーズ サーバへのホットプラグおよび工具不要の装着が可能な、共通の電気および物理設計を使用しています。各電源ユニットは、高効率の動作が保証されており、複数の出力オプションを提供します。このため、ユーザーはサーバー構成に基づいて「適切なサイズ」を選択でき、電力効率を向上させ、全体的なエネルギーコストを削減し、データセンター内の容量の使い残しを回避できます。選択したオプション（CPU、ドライブ、メモリなど）に応じて必要な電力を計算するには、次のリンクにある電力計算ツールを使用してください。

http://ucspowercalc.cisco.com [英語]

表 20 電源モジュール

製品 ID（PID）	PID の説明
PSU (入力ハイ ライン 210VAC)	
HX-PSU1-1050W	C シリーズ サーバープラチナム 用 1050W AC 電源ユニット
HX-PSUV2-1050DC	ラックサーバー用 Cisco UCS 1050W -48V DC 電源には CAB-48DC-40A-8AWG 電源コードが必要です
HX-PSU1-1600W	C シリーズ サーバー プラチナム 用 1600W AC 電源ユニット
PSU (入力ロー ライン 110VAC)	
HX-PSU1-1050W	C シリーズ サーバープラチナム 用 1050W AC 電源ユニット
HX-PSUV2-1050DC	ラックサーバー用 Cisco UCS 1050W -48V DC 電源には CAB-48DC-40A-8AWG 電源コードが必要です

注：1 台のサーバで 2 台の電源ユニットを使用する場合は、両方の電源ユニットが同一である必要があります。

ステップ 13 入力電源コードを選択する

表 21 を使用して、適切な AC 電源コードを選択します。電源コードは最大 2 本選択できます(省略可)。オプションの R2XX-DMYMPWRCORD を選択した場合、サーバに電源コードは付属しません。

表 21 使用可能な電源コード

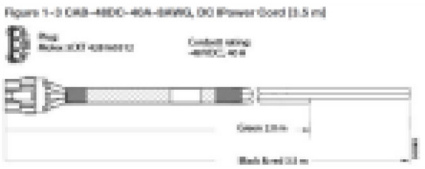
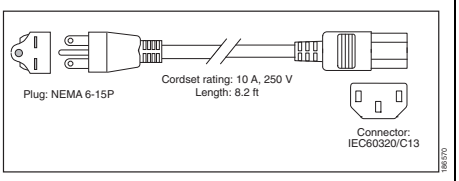
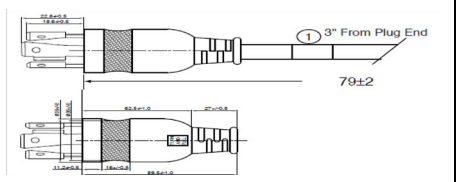
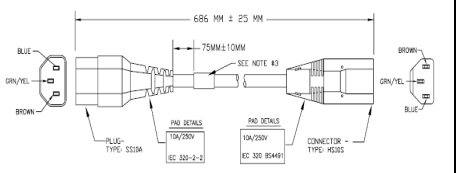
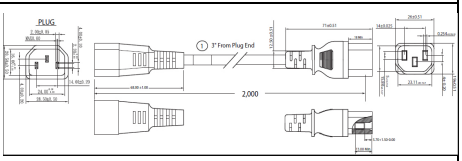
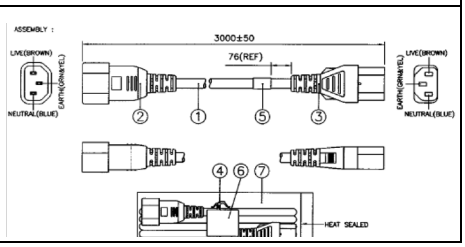
製品 ID (PID)	PID の説明	イメージ
電源ケーブルなし	環境に優しいグリーン オプション、電源ケーブルは出荷されません	該当なし
R2XX-DMYMPWRCORD	電源コードなし(電源コードを選択しない場合のダミー PID)	該当なし
CAB-48DC-40A-8AWG	C シリーズ -48VDC PSU 電源コード、3.5 m、3 ワイヤ、8AWG、40A	
CAB-N5K6A-NA	電源コード、200/240 V 6 A (北米)	
CAB-AC-L620-C13	AC 電源コード、NEMA L6-20 - C13、2 m/6.5 フィート	
CAB-C13-CBN	CABASY、ワイヤ、ジャンパ コード、27 インチ L、C13/C14、10A/250V	
CAB-C13-C14-2M	CABASY、ワイヤ、ジャンパ コード、PWR、2 m、C13/C14、10A/250V	
CAB-C13-C14-AC	CORD,PWR,JMP,IEC60320/C14, IEC6 0320/C13, 3.0M	

表 21 使用可能な電源コード

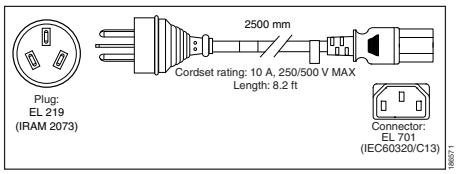
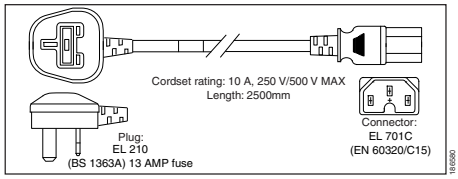
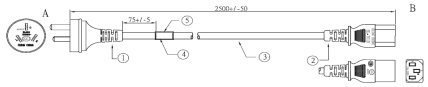
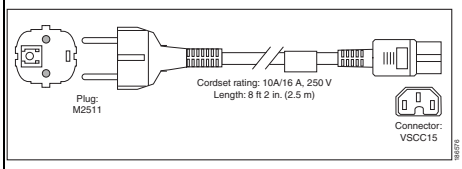
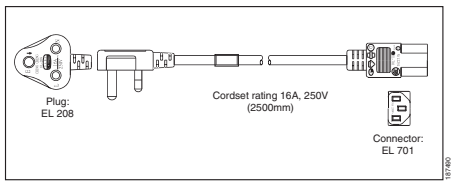
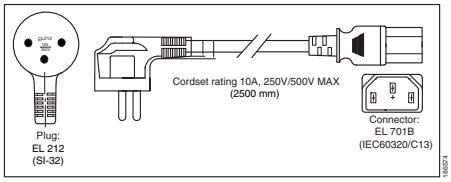
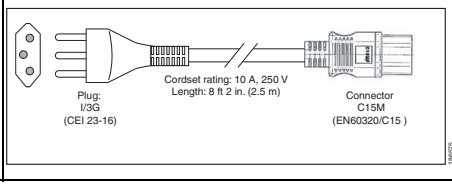
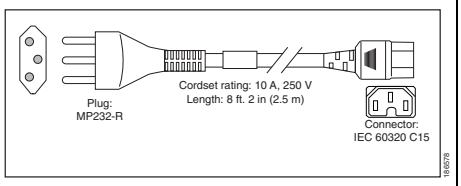
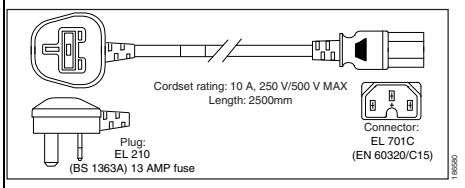
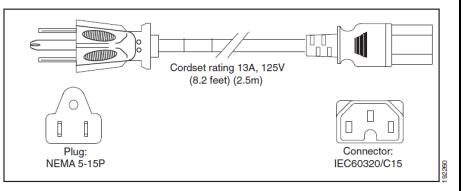
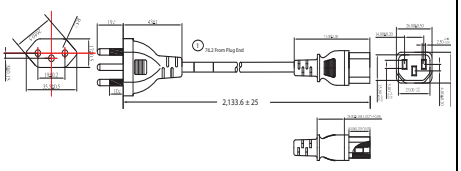
製品 ID（PID）	PID の説明	イメージ
CAB-250V-10A-AR	電源コード、250 V、10 A（アルゼンチン仕様）	
CAB-9K10A-AU	電源コード、250 VAC、10 A、3112 プラグ（オーストラリア）	
CAB-250V-10A-CN	AC 電源コード、250 V、10 A（中国）	
CAB-9K10A-EU	電源コード、250 VAC、10 A、CEE 7/7 プラグ（EU）	
CAB-250V-10A-ID	電源コード、250 V、10 A（インド仕様）	
CAB-C13-C14-3M-IN	電源コード ジャンパ、C13-C14 コネクタ、長さ 3 m、インド	図なし
CAB-C13-C14-IN	電源コード ジャンパ、C13-C14 コネクタ、長さ 1.4 m、インド	図なし
CAB-250V-10A-IS	電源コード、SFS、250 V、10 A（イスラエル仕様）	
CAB-9K10A-IT	電源コード、250 VAC、10 A、CEI 23-16/VII プラグ（イタリア）	

表 21 使用可能な電源コード

製品 ID（PID）	PID の説明	イメージ
CAB-9K10A-SW	電源コード、250 VAC 10 A MP232 プラグ（スイス仕様）	
CAB-9K10A-UK	電源コード、250 VAC、10 A、BS1363 プラグ（13 A ヒューズ）（英国）	
CAB-9K12A-NA[1]	電源コード、125 VAC、13 A、NEMA 5-15 プラグ（北米）	
CAB-250V-10A-BR	電源コード、250 V、10 A（ブラジル）	
CAB-C13-C14-2M-JP	電源コード C13-C14、2 m（6.5 フィート）、日本 PSE マーク	図なし
CAB-9K10A-KOR[1]	電源コード、125 VAC 13 A KSC8305 プラグ（韓国）	図なし
CAB-ACTW	AC 電源コード（台湾）、C13、EL 302、2.3 m	図なし
CAB-JPN-3PIN	日本仕様、90-125 VAC 12 A NEMA 5-15 プラグ、2.4 m	図なし
CAB-48DC-40A-INT	C シリーズ -48VDC PSU 電源コード、3.5 m、3 ワイヤ、8AWG、40A（INT）	画像なし
CAB-48DC-40A-AS	C シリーズ -48VDC PSU 電源コード、3.5 m、3 ワイヤ、8AWG、40A（AS/NZ）	画像なし

注：

1. この電源コードは定格が 125 V で、定格 1050 W 以下の PSU のみをサポートします。

ステップ 14 工具不要レール キットとオプションのリバーシブルなケーブル マネジメント アームを選択する

工具不要レール キットを選択する

表 22 から工具レス レール キットを選択します。

表 22 工具不要レール キットのオプション

製品 ID（PID）	PID の説明
HX-RAIL-M6	C220 および C240 M6 ラック サーバ用ボール ベアリング レール キット

注：シスコでは、レールキットの最小数量を 1 つにすることを推奨しています。

オプションのリバーシブル ケーブル マネージメント アームを選択する

リバーシブル ケーブル マネージメント アームは、サーバ背面の右または左のスライドレールのどちらかに取り付けて、ケーブルの整理に使用します。ケーブル マネジメント アームを注文する場合は、*表 23* を参照してください。

表 23 ケーブル マネジメント アーム

製品 ID（PID）	PID の説明
HX-CMA-C220M6	C220 M6 ボール ベアリング レール キット用のリバーシブル CMA

工具不要レールキットとケーブル マネージメント アームの詳細については、次の URL の Cisco M5 の設置およびサービス ガイドを参照してください。

https://www.cisco.com/content/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/c/hw/c220m6/install/c220m6.html

注：HyperFlex HX225C M6S All Flash/ ハイブリッドサーバノードをラックマウントする場合は、工具不要レールキットを注文する必要があります。M5 サーバと M6 サーバでは、同じレールキットと CMA が使用されます。

ステップ 15 セキュリティ デバイスを選択する（オプション）

トラステッド プラットフォーム モジュール（TPM）は、プラットフォーム（サーバ）の認証に使用される情報を安全に格納できるコンピュータ チップ（マイクロコントローラ）です。これらのアーティファクトには、パスワード、証明書、または暗号キーを収録できます。プラットフォームが信頼性を維持していることを確認するうえで効果的なプラットフォームの尺度の保存でも、TPM を使用できます。すべての環境で安全なコンピューティングを実現するうえで、認証（プラットフォームがその表明どおりのものであることを証明すること）および立証（プラットフォームが信頼でき、セキュリティを維持していることを証明するプロセス）は必須の手順です。

シャーシ侵入スイッチは、サーバに対して不正アクセスがあった場合に通知します。

表 24 に、セキュリティ デバイスの選択情報を示します。

表 24 セキュリティ デバイス

製品 ID（PID）	PID の説明
HX-TPM2-002B-C	トラステッド プラットフォーム モジュール 2.0 UCS サーバー（FIPS 140-2 準拠）
HX-INT-SW02	C220 および C240 M6 シャーシ イントルージョン スイッチ
UCSX-TPM-OPT-OUT	OPT OUT、TPM 2.0、TCG、FIPS140-2、CC EAL4 + 認定[1]

注：

1. ベアメタルまたはゲスト VM の展開には、Microsoft 認定の TPM 2.0 が必要であることに注意してください。TPM 2.0 のオプトアウトにより、Microsoft 認定資格が無効になります

注：

- このシステムで使用される TPM モジュールは、信頼されたコンピューティング グループ（TCG）で定義されている TPM 2.0 に準拠しています。また SPI にも準拠しています。
- TPM の取り付けは、工場出荷後にサポートされます。ただし、TPM は一方向ネジで取り付けられるため、交換したり、アップグレードしたり、別のサーバに取り付けたりすることはできません。TPM を取り付けたサーバを返却する場合は、交換用サーバを新しい TPM とともにオーダーする必要があります。

ステップ 16　ロックキー付きセキュリティ ベゼルを選択する（オプション）

シャーシ前面にオプションのロックベゼルを取り付けることで、ドライブへの不正アクセスを防止できます。

表 25 からロック ベゼルを選択します。

表 25　HyperFlexHX225CM6S すべてのフラッシュおよびハイブリッドサーバーノードのベゼルオプションのロック

製品 ID（PID）	説明
HXAF220C-BZL-M5S	HXAF220C M5 セキュリティ ベゼル
HX220C-BZL-M5	HX220C M5 セキュリティ ベゼル

ステップ 17 ハイパーバイザ / ホスト オペレーティング システムを選択する

次のハイパーバイザ / オペレーティング システム オプションを選択できます。*表 26* から必要に応じて VMware ESXi または Microsoft Windows Server のいずれかの PID を選択します

表 26 ハイパーバイザ / ホスト オペレーティング システム

製品 ID（PID）	PID の説明
ESXi オプション	
VMware[1]	
HX-VSP-7-0-FND-D	出荷時にインストールされた vSphere SW 7.0 1-CPU エンドユーザーによりライセンスを提供
HX-VSP-7-0-FND2-D	出荷時にインストールされた vSphere SW 7.0 2-CPU エンドユーザーによりライセンスを提供
VMware PAC ライセンス[2]	
HX-VSP-EPL-1A	VMware vSphere 7.x Ent Plus（1 CPU、32 コア）、1 年サポートが必要
HX-VSP-EPL-3A	VMware vSphere 7.x Ent Plus（1 CPU、32 コア）、3 年サポートが必要
HX-VSP-EPL-5A	VMware vSphere 7.x Ent Plus（1 CPU、32 コア）、5 年サポートが必要
HX-VSP-STD-1A	VMware vSphere 7.x Standard（1 CPU、32 コア）、1 年サポートが必要
HX-VSP-STD-3A	VMware vSphere 7.x Standard（1 CPU、32 コア）、3 年サポートが必要
HX-VSP-STD-5A	VMware vSphere 7.x Standard（1 CPU、32 コア）、5 年サポートが必要
オペレーティング システム[3]	
Microsoft オプション	
MSWS-19-DC16C-NS	Windows Server 2019 Data Center（16 コア /VM 無制限）- Cisco SVC なし
MSWS-19-ST16C-NS	Windows Server 2019 Standard（16 コア /2 VM）、Cisco SVC なし
HX-MSWS-19-DC16C	Windows Server 2019 Data Center（16 コア /VM 無制限）
HX-MSWS-19-ST16C	Windows Server 2019 Standard（16 コア /2 VM）

注：

1. 詳細については、https://kb.vmware.com/s/article/82794 リンクを参照してください。
2. 2 CPU 構成用の PAC ライセンスを選択する場合は、数量 2 を選択します。
3. ハイパーバイザ上で実行するために購入できるオプションのゲスト OS ライセンス。

ステップ 18　HYPERFLEX データ プラットフォーム（HDXP）ソフトウェアを選択する

次の HyperFlex データ プラットフォーム エディションおよびサブスクリプション期間オプションを選択できます。

製品 ID（PID）	説明
HXDP-SW	Cisco HyperFlex データ プラットフォーム ソフトウェア

目的のオプションを選択 *表 27*

表 27　HX Data Platform ソフトウェア

製品 ID（PID）	PID の説明
Cisco HyperFlex データ プラットフォーム ソフトウェア	
HXDP-DC-AD	HyperFlex データ プラットフォーム エッジ アドバンテージ（1 ~ 5 年）
HXDP-DC-PR	HyperFlex データ プラットフォーム エッジ プレミア（1 ~ 5 年）
Cisco HyperFlex データ プラットフォーム ソフトウェア -SLR	
HXDP-DC-AD-SLR	HyperFlex データ プラットフォーム エッジ アドバンテージ SLR（1 ~ 5 年）
HXDP-DC-PR-SLR	HyperFlex データ プラットフォーム エッジ プレミア SLR（1 ~ 5 年）
Cisco HyperFlex データ プラットフォーム ソフトウェア - サポート	
SVS-DCM-SUPT-BAS	DCM 向け基本サポート
SVS-SSTCS-DCMGMT	DC 管理向けソリューション サポート
SVS-L1DCS-HXDP	HXDP の CXL1
SVS-L2DCS-HXDP	HXDP の CXL2

ステップ 19 CISCO INTERSIGHT

Cisco Intersight™ は、Software as a Service（SaaS）Hybrid クラウド運用プラットフォームであり、従来型およびクラウドネイティブのアプリケーションとインフラストラクチャ向けにインテリジェントな自動化、可観測性、最適化を実現します。

製品 ID（PID）	説明
DC-MGT-SAAS	Cisco Intersight SaaS

目的のオプションを選択します*表 28*。

表 28 Cisco Intersight

製品 ID（PID）	PID の説明
Cisco Intersight - SaaS	
DC-MGT-SAAS-EST-C	Cisco Intersight SaaS-Essentials（1 ~ 5）年
DC-MGT-SAAS-AD-C	Cisco Intersight SaaS - Advantage(新規)（1 ~ 5）年
DC-MGT-SAAS-PR-C	Cisco Intersight SaaS - Premier（1 ~ 5）年
Cisco Intersight - 接続済み仮想アプライアンス	
DC-MGT-ONPREM-EST	Cisco Intersight 接続済み仮想アプライアンス - Essentials（1 ~ 5）年
DC-MGT-VAPP-AD	Cisco Intersight 接続済み仮想アプライアンス - Advantage（1 ~ 5）年
DC-MGT-VAPP-PR	Cisco Intersight 接続済み仮想アプライアンス - Premier（1 ~ 5）年
Cisco Intersight - プライベート仮想アプライアンス	
DC-MGT-PVAPP-EST	Cisco Intersight プライベート仮想アプライアンス - Essentials（1 ~ 5）年
DC-MGT-PVAPP-AD	Cisco Intersight プライベート仮想アプライアンス - Advantage（1 ~ 5）年
DC-MGT-PVAPP-PR	Cisco Intersight プライベート仮想アプライアンス - Premier（1 ~ 5）年
Cisco Intersight サポート	
SVS-DCM-SUPT-BAS	DCM 向け基本サポート
SVS-SSTCS-DCMGMT	DC 管理向けソリューション サポート
SVS-L1DCS-INTER	INTERSIGHT 用 CXL1
SVS-L2DCS-INTER	インターサイト用 CXL2

ステップ 20 サービスおよびサポート レベルを選択する

必要なサービス オプションをご利用いただけます。

Unified Computing Warranty（契約なし）

ご使用システムの重要性が高くない場合は、サービスなしの契約をお選びいただけます。提供される内容は次のとおりです。

- 3 年間のパーツ提供対応
- 翌営業日（NBD）のパーツ交換、8 時間 / 日、5 日 / 週
- 90 日間のソフトウェア保証（メディア対象）
- BIOS、ドライバ、ファームウェアのアップデートの継続的ダウンロード
- UCSM アップデート（Unified Computing System Manager を使用するシステムの場合）。このアップデートには、公開されている仕様、リリース ノート、業界標準への UCSM のコンプライアンスを維持するためのマイナー拡張やバグ修正が含まれます。

Cisco UCS 向け Smart Net Total Care (SNTC)

Unified Computing システム の 全体 サポート に ついては、Cisco は UCS サービス向けに Cisco Smart Net Total Care（SNTC）Toral Care を提供します。この サービス では、エキスパートによる ソフトウェア および ハードウェア へのサポートを 行い、Unified Computing 環境 における パフォーマンス の維持 と 高可用性 の実現への お手伝いをいたします。世界中の どこからでも Cisco TechnicalAssistanceCenter(TAC) に 24 時間いつでもアクセスできます

Unified Computing System Manager を含むシステム向けには、UCSM アップグレードのダウンロードをはじめとしたサポート サービスを提供いたします Cisco Smart Net Total Care は 、各種ハードウェア 交換 オプション を ご用意し、2 時間以内 の 交換 などにも 対応 しています。また、シスコの豊富なオンラインテクニカルリソースにもアクセスできます。UnifiedComputing 環境において最大の効率性とアップタイムを実現するためにご活用いただけます。詳細については、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/c/en/us/services/technical/smart-net-total-care.html?stickynav=1

表 29 の一覧から希望のサービスを選択できます。

表 29 UCS サービス 向け Cisco SNTC（PID HXAF225C-M6S）

サービス SKU	サービス レベル GSP	オンサイト？	説明
CON-PREM-HXAF225C	C2P	対応	SNTC 24X7X2OS
CON-UCSD8-HXAF225C	UCSD8	対応	UC SUPP DR 24X7X2OS*
CON-C2PL-HXAF225C	C2PL	対応	LL 24X7X2OS**

表 29 UCS サービス 向け Cisco SNTC（PID HXAF225C-M6S）*（続き）*

サービス SKU	サービス レベル GSP	オンサイト？	説明
CON-OSP-HXAF225C	C4P	対応	SNTC 24X7X4OS
CON-UCSD7-HXAF225C	UCSD7	対応	UCS DR 24X7X4OS*
CON-C4PL-HXAF225C	C4PL	対応	LL 24X7X4OS**
CON-USD7L-HXAF225C	USD7L	対応	LLUCS HW DR 24X7X4OS***
CON-OSE-HXAF225C	C4S	対応	SNTC 8X5X4OS
CON-UCSD6-HXAF225C	UCSD6	対応	UC SUPP DR 8X5X4OS*
CON-SNCO-HXAF225C	SNCO	対応	SNTC 8x7xNCDOS****
CON-OS-HXAF225C	CS	対応	SNTC 8X5XNBDOS
CON-UCSD5-HXAF225C	UCSD5	対応	UCS DR 8X5XNBDOS*
CON-S2P-HXAF225C	S2P	なし	SNTC 24X7X2
CON-S2PL- HXAF225C	S2PL	なし	LL 24X7X2**
CON-SNTP-HXAF225C	SNTP	なし	SNTC 24X7X4
CON-SNTPL-HXAF225C	SNTPL	なし	LL 24X7X4**
CON-SNTE-HXAF225C	SNTE	なし	SNTC 8X5X4
CON-SNC-HXAF225C	SNC	なし	SNTC 8x7xNCD
CON-SNT-HXAF225C	SNT	なし	SNTC 8X5XNBD
CON-SW-HXAF225C	SW	なし	SNTC NO RMA
注記：PID HX225C-M6S の場合、HX225CM5 サフィックスの付いたサービス SKU を選択します (例：CON-OSP-HX225CM5)			
* Drive Retention を含む（詳細は後述の説明を参照）			
** ローカル言語サポートを含む（詳細は後述の説明を参照）– 中国と日本でのみ利用可能			
*** ローカル言語サポートと Drive Retention を含む – 中国と日本でのみ利用可能			

Cisco UCS 向け Smart Net Total Care オンサイト トラブルシューティング サービス

従来の Smart Net Total Care を拡張したサービスです。お客様の Cisco Unified Computing System（UCS）環境内で発生したハードウェア問題を診断および切り離す際に役立つ、オンサイト トラブルシューティングの専門知識を提供します。このサービスは、シスコ認定フィールド エンジニア（FE）がリモートの TAC エンジニアおよび仮想インターネット ワーキング サポート エンジニア（VISE）と協力して提供します。*表 30* の一覧から希望のサービスを選択できます。

表 30 UCS 向け SNTC オンサイト トラブルシューティング サービス（PID HXAF225C-M6S）

サービス SKU	サービス レベル GSP	オン サイト対応	説明
CON-OSPT-HXAF225C	OSPT	対応	24X7X4OS Trblshtg
CON-OSPTD-HXAF225C	OSPTD	対応	24X7X4OS TrblshtgDR*
CON-OSPTL-HXAF225C	OSPTL	対応	24X7X4OS TrblshtgLL**
CON-OPTLD-HXAF225C	OPTLD	対応	24X7X4OS TrblshtgLLD***
注記：PID HX225C-M6S の場合、HX225CM5 サフィックスの付いたサービス SKU を選択します (例：CON-OSTP-HX225CM5)			
* Drive Retention を含む（詳細は後述の説明を参照）			
** ローカル言語サポートを含む（詳細は後述の説明を参照）– 中国と日本でのみ利用可能			
*** ローカル言語サポートと Drive Retention を含む – 中国と日本でのみ利用可能			

USC 向けソリューション サポート （SSTP）

ソリューション サポートには、シスコ製品のサポートとソリューションレベルのサポートの両方が含まれており、マルチベンダー環境の複雑な問題の解決時間が、製品サポート単体の場合と比べて平均で 43 % 以上短縮されます。ソリューション サポートは、データセンター管理における重要な要素であり、パフォーマンス、信頼性、投資回収率を維持しながら、発生した問題の迅速な解決を支援します。

このサービスは、エコシステムに展開したシスコ製品とソリューション パートナーの製品の両方に対応するため、マルチベンダーのシスコ環境全体でサポートが一元化されます。シスコとソリューションパートナーのどちらの製品に問題がある場合でも、シスコにご連絡ください。シスコのエキスパートが主な連絡窓口となり、最初のお電話から問題の解決までお客様をサポートします。詳細については、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/c/en/us/services/technical/solution-support.html?stickynav=1

記載 されている 中から 希望の サービス を 選択 できます *表 31*。

表 31 UCS サービス 向け ソリューションサポート（PID HXAF225C-M6S）

サービス SKU	サービス レベル GSP	オン サイト対応	説明
CON-SSC2P-HXAF225C	SSC2P	対応	SOLN SUPP 24X7X2OS
CON-SSC4P-HXAF225C	SSC4P	対応	SOLN SUPP 24X7X4OS
CON-SSC4S-HXAF225C	SSC4S	対応	SOLN SUPP 8X5X4OS
CON-SSCS-HXAF225C	SSCS	対応	SOLN SUPP 8X5XNBDOS
CON-SSDR7-HXAF225C	SSDR7	対応	SSPT DR 24X7X4OS*
CON-SSDR5-HXAF225C	SSDR5	対応	SSPT DR 8X5XNBDOS*
CON-SSS2P-HXAF225C	SSS2P	なし	SOLN SUPP 24X7X2
CON-SSSNP-HXAF225C	SSSNP	なし	SOLN SUPP 24X7X4
CON-SSSNE-HXAF225C	SSSNE	なし	SOLN SUPP 8X5X4
CON-SSSNC-HXAF225C	SSSNC	なし	SOLN SUPP NCD
CON-SSSNT-HXAF225C	SSSNT	なし	SOLN SUPP 8X5XNBD
注記：PID HX225C-M6S の場合、HX225CM5 サフィックスの付いたサービス SKU を選択します (例：CON-SSC4P-HX225CM5)			
* Drive Retention を含む（詳細は後述の説明を参照）			

サービス プロバイダ向けソリューション サポート

記載 されている 中から 希望の サービス を 選択 できます *表 32*。

表 32 UCS サービス 向け ソリューションサポート（PID HXAF225C-M6S)

サービス SKU	サービス レベル GSP	オン サイト対応	説明
SP-SSC2P-HXAF225C	SPSSC2P	対応	SP SOLN SUPP 24X7X2OS
SP-SSC4P-HXAF225C	SPSSC4P	対応	SP SOLN SUPP 24X7X4OS
SP-SSC4S-HXAF225C	SPSSC4S	対応	SP SOLN SUPP 8X5X4OS
SP-SSCS-HXAF225C	SPSSCS	対応	SP SOLN SUPP 8X5XNBDOS
SP-SSS2P-HXAF225C	SPSSS2P	対応	SP SOLN SUPP 24X7X2
SP-SSS4P-HXAF225C	SPSSS4P	対応	SP SOLN SUPP 24X7X4
SP-SSSNE-HXAF225C	SPSSSNE	なし	SP SOLN SUPP 8X5X4
SP-SSSNT-HXAF225C	SPSSSNT	なし	SP SOLN SUPP 8X5XNBD
SP-SSSPB-HXAF225C	SPSSSPB	なし	SP SOLN SUPP NO HW RPL
注記：PID HX225C-M6S の場合、HX225CM5 サフィックスの付いたサービス SKU を選択します (例：CON-SPSSC4P-HX225CM5)			

Smart Net Total Care for UCS Hardware Only Service

Cisco Unified Computing System の標準の保証期間より短期間での部品交換をt ご希望のお客様には、Cisco Smart Net Total Care for UCS Hardware Only Service を提供しています。4時間以内のオンサイト部品交換など、2 つのレベルの高度な部品交換サービスからお選びいただけます。Smart Net Total Care for UCS Hardware Only Service では、返品許可（RMA）が必要であるか の判断を行う、シスコの サポート プロフェッショナルにいつでもリモートアクセスできます。に記載されている中から希望のサービスを選択できます*表 33*。

表 33 UCS ハードウェア専用サービスの SNTC（PID HXAF225C-M6S）

サービス SKU	サービス レベル GSP	オンサイト？	説明
CON-UCW7-HXAF225C	UCW7	対応	UCS HW 24X7X4OS
CON-UCWD7-HXAF225C	UCWD7	対応	UCS HW + DR 24X7X4OS *
CON-UCW7L-HXAF225C	UCW7L	対応	LL 24X7X4OS**
CON-UWD7L-HXAF225C	UWD7L	対応	LL UCS DR 24X7X4OS***
CON-UCW5-HXAF225C	UCW5	対応	UCS HW 8X5XNBDOS
CON-UCWD5-HXAF225C	UCWD5	対応	UCS HW+DR 8X5XNBDOS*
注記：PID HX225C-M6S の場合、HX225CM5 サフィックスの付いたサービス SKU を選択します (例：CON-UCW7-HX225CM5)			
* Drive Retention を含む（詳細は後述の説明を参照）			
** ローカル言語サポートを含む（詳細は後述の説明を参照）– 中国と日本でのみ利用可能			
*** ローカル言語サポートと Drive Retention を含む – 中国と日本でのみ利用可能			

UCS のパートナー向け サポート サービス

Cisco パートナー サポート サービス （PSS) は 、パートナー が 独自 の ブランド サポートやマネージドサービスを企業顧客に提供するために設計されたシスココラボレーションサービスメニューです。Cisco PSS を利用すれば、パートナーは、to シスコのサポートインフラストラクチャや資産にアクセスして次のような目的に役立てることができます。

- 最も 複雑な ネットワーク 環境 に 対応 するための サービス ポートフォリオ を拡充 する
- 納入 コスト を削減する
- 顧客 ロイヤルティ を 高める サービスを 提供する

PSS オプション を使用 すれば、認定された シスコ パートナー は、シスコの 知的資産 を 活用した 価値の 高い テクニカル サポート を 開発し、一貫して 提供することができます。これにより、パートナー は より 高い マージン を 獲得し 、活動範囲を 広げることができます。PSS は 、すべての Cisco PSS パートナーがご利用できます。2 パートナー Unified コンピューティング サポート オプションには 次が含まれます。

- UCS パートナー向け サポート サービス
- UCS ハードウェア 専用 パートナー サポート サービス

PSS は、シスコ テクニカル リソース が 支援する サード パーティ ソフトウェア のトリアージ サポート と レベル 3 サポート を含む ハードウェア サポート と ソフトウェア サポート を 提供 します。*表 34* の一覧から希望のサービスを選択できます。

表 34　UCS 用 PSS（PID HXAF225C-M6S）

サービス SKU	サービス レベル GSP	オン サイト対応	説明
CON-PSJ8-HXAF225C	PSJ8	対応	UCS PSS 24X7X2 OS
CON-PSJ7-HXAF225C	PSJ7	対応	UCS PSS 24X7X4 OS
CON-PSJD7-HXAF225C	PSJD7	対応	UCS PSS 24X7X4 DR*
CON-PSJ6-HXAF225C	PSJ6	対応	UCS PSS 8X5X4 OS
CON-PSJD6-HXAF225C	PSJD6	対応	UCS PSS 8X5X4 DR*
CON-PSJ4-HXAF225C	PSJ4	なし	UCS SUPP PSS 24X7X2
CON-PSJ3-HXAF225C	PSJ3	なし	UCS SUPP PSS 24X7X4
CON-PSJ2-HXAF225C	PSJ2	なし	UCS SUPP PSS 8X5X4
CON-PSJ1-HXAF225C	PSJ1	なし	UCS SUPP PSS 8X5XNBD
注記：PID HX225C-M6S の場合、HX225CM5 サフィックスの付いたサービス SKU を選択します (例：CON-PSJ7-HX225CM5)			
* Drive Retention を含む（詳細は後述の説明を参照）			

UCS ハードウェア専用の PSS

PSS ハードウェア 専用 PSS では、交換部品 を 2 時間 で 提供 し、返品許可（RMA）が必要 であるかの判断を行うサポート プロフェッショナルにいつでもリモート アクセスできます。*表 35* の一覧から希望のサービスを選択できます。

表 35　PSS 用 PSS ハードウェア専用（PID HXAF225C-M6S）

サービス SKU	サービス レベル GSP	オン サイト対応	説明
CON-PSW7-HXAF225C	PSW7	対応	UCS W PSS 24X7X4 OS
CON-PSWD7-HXAF225C	PSWD7	対応	UCS W PSS 24X7X4 DR*
CON-PSW6-HXAF225C	PSW6	対応	UCS W PSS 8X5X4 OS
CON-PSWD6-HXAF225C	PSWD6	対応	UCS W PSS 8X5X4 DR*
CON-PSW4-HXAF225C	PSW4	なし	UCS W PL PSS 24X7X2
CON-PSW3-HXAF225C	PSW3	なし	UCS W PL PSS 24X7X4
CON-PSW2-HXAF225C	PSW2	なし	UCS W PL PSS 8X5X4
注記：PID HX225C-M6S の場合、HX225CM5 サフィックスの付いたサービス SKU を選択します (例：CON-PSW7-HX225CM5)			
* Drive Retention を含む（詳細は後述の説明を参照）			

ディストリビュータ サポート　サービス（DSS）

表 36 の一覧から希望のサービスを選択できます。

表 36　PSS 用 PSS ハードウェア専用（PID HXAF225C-M6S）

サービス SKU	サービス レベル GSP	オン サイト対応	説明
CON-DSCO-HXAF225C	DSCO	対応	DSS CORE 24X7X2OS
CON-DSO-HXAF225C	DSO	対応	DSS CORE 24X7X4
CON-DSNO-HXAF225C	DSNO	対応	DSS CORE 8X5XNBDOS
CON-DSCC-HXAF225C	DSCC	いいえ	DSS CORE 24X7X2
CON-DCP-HXAF225C	DCP	いいえ	DSS CORE 24X7X4
CON-DSE-HXAF225C	DSE	いいえ	DSS CORE 8X5X4
CON-DSN-HXAF225C	DSN	いいえ	DSS CORE 8X5XNBD
注記：PID HX225C-M6S の場合、HX225CM5 サフィックスの付いたサービス SKU を選択します (例：CON-DSO-HX225CM5)			

Unified Computing Combined Support サービス

Combined Services は 、1 つ の 契約 で 必要な サービスの 購入と 管理を 容易にします。UCS 向けの SNTC サービス は 、不可欠 な データセンター インフラストラクチャ の 可用性 を向上させ 、Unified Computing への 投資 から 最大 の価値を 引き出し ます。Cisco Unified Computing System （Cisco UCS) から 得られる メリット が 大きいほど 、お客様 の ビジネス に とって テクノロジー が 重要 に なります。これらの サービス を使用すれば、次のことが 可能になります。

- UCS の アップタイム、パフォーマンス、および 効率性 を 最適化 する
- 問題を 迅速 に 特定 して対処 すること によって、重要なビジネス アプリケーション を保護する
- 情報伝達 と メンタリング を通じて、社内の 専門知識 を 強化する
- UCS エキスパート によって 社内 スタッフ の 稼働率 が高められる ことで、業務の 効率化 を図る
- への 影響 が 発生 する 前に 潜在的な 問題 を 診断することで your ビジネスの俊敏性を高める運用

表 37 の一覧から希望のサービスを選択できます。

表 37 UCS 向け 復号サポートサービス （PID HXAF225C-M6S)

サービス SKU	サービス レベル GSP	オン サイト対応	説明
CON-NCF2P-HXAF225C	NCF2P	対応	CMB SVC 24X7X2OS
CON-NCF4P-HXAF225C	NCF4P	対応	CMB SVC 24X7X4OS
CON-NCF4S-HXAF225C	NCF4S	対応	CMB SVC 8X5X4OS
CON-NCFCS-HXAF225C	NCFCS	対応	CMB SVC 8X5XNBDOS
CON-NCF2-HXAF225C	NCF2	なし	CMB SVC 24X7X2
CON-NCFP-HXAF225C	NCFP	なし	CMB SVC 24X7X4
CON-NCFE-HXAF225C	NCFE	なし	CMB SVC 8X5X4
CON-NCFT-HXAF225C	NCFT	なし	CMB SVC 8X5XNBD
CON-NCFW-HXAF225C	NCFW	なし	CMB SVC SW
注記：PID HX225C-M6S の場合、HX225CM5 サフィックスの付いたサービス SKU を選択します (例：CON-NCF4P-HX225CM5)			

UCS Drive Retention サービス

Cisco Unified Computing Drive Retention サービスは、障害 ディスク の 部品 交換 にあたり、故障した ディスク ドライブの 返却 なしに、交換用の 新しい ドライブ を提供 する サービス です。

故障した ディスク ドライブ であっても 、高度な データ リカバリ技術により、極秘情報、所有権情報、機密情報などの セキュリティが 危険にさらされる 可能性 があります。このサービスを利用して ドライブを 手元 に 保持したまま 破棄 すれば 、こうした ドライブ の 機密 データ が 脅かされ ることが なく なり、機密 漏えい 責任を 問われる リスク が 軽減します。この サービスは、規制 や 国 および 地方で 定められた要件への 遵守 にも 役立ちます。

社内で 機密 データ 、秘密 データ 、極秘 データ、および 専有 データ を 管理する 必要が ある 場合 は 、前出 の表に示した Drive Re tention サービス のいずれかを検討してください (利用可能な場合)。

注：このサービスには、証明書付きドライブ破壊サービスは含まれません。

UCS のローカル言語テクニカル サポート

利用可能な場合は、追加料金の支払いを受けた上で、割り当てられたすべての重大度レベルについて、特定製品に対するコールのローカル言語サポートを利用できます。前述の表を参照。

Cisco Unified Computing System 向けの全サービス一覧は、次の URL でご覧いただけます。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10312/serv_group_home.html

参考資料

ハイパーコンバージド システム

Cisco HyperFlex System では、ハイパーコンバージェンスの持てる力を最大限に引き出し、IT をワークロードのニーズに適応させることができます。エンドツーエンドのソフトウェアデファインド インフラストラクチャのアプローチを採用したこのシステムでは、Cisco HyperFlex HX シリーズ ノードによるソフトウェアデファインド コンピューティング、強力な Cisco HX Data Platform を利用したソフトウェアデファインド ストレージ、そして Cisco Application Centric Infrastructure（Cisco ACI）とスムーズに統合できる Cisco UCS ファブリックによるソフトウェアデファインドネットワーキングが 1 つになっています。こうした一元化テクノロジーにより、サーバー、ストレージ、ネットワークが統合された適応性の高いクラスタが実現します。この中では、リソースの迅速な導入、適合、拡大・縮小、管理が可能で、アプリケーションとビジネスを効率化できます。

図 8 & *図 9* はスモール フットプリント クラスタを示します。

図 8　　データ センター ファブリック インターコネクト展開モードの HX225 M6 All Flash/Hybrid サーバー ノードを使用するスモール フットプリント クラスタ。

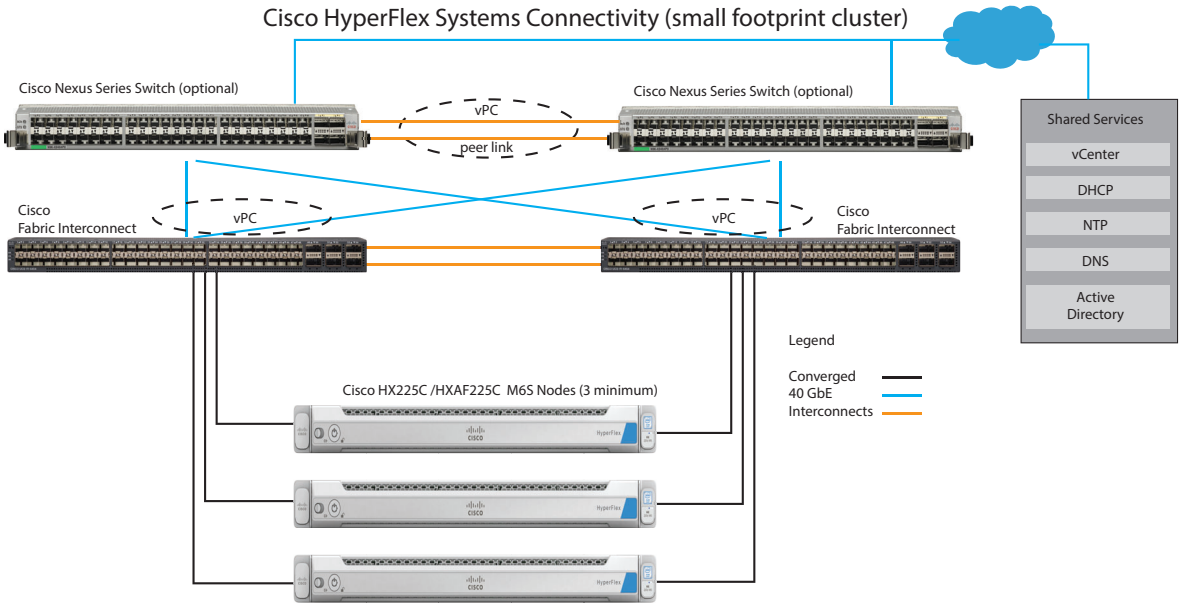
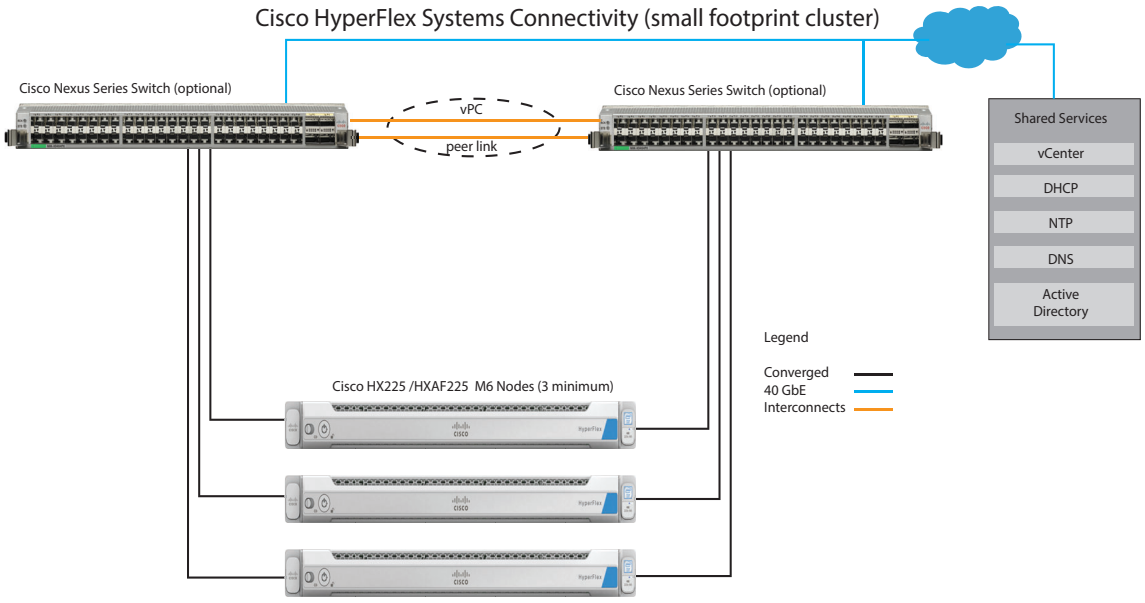


図 9　　データ センター ファブリック インターコネクト展開モードの HX225 M6 All Flash/Hybrid サーバー ノードを使用するスモール フットプリント クラスタ。

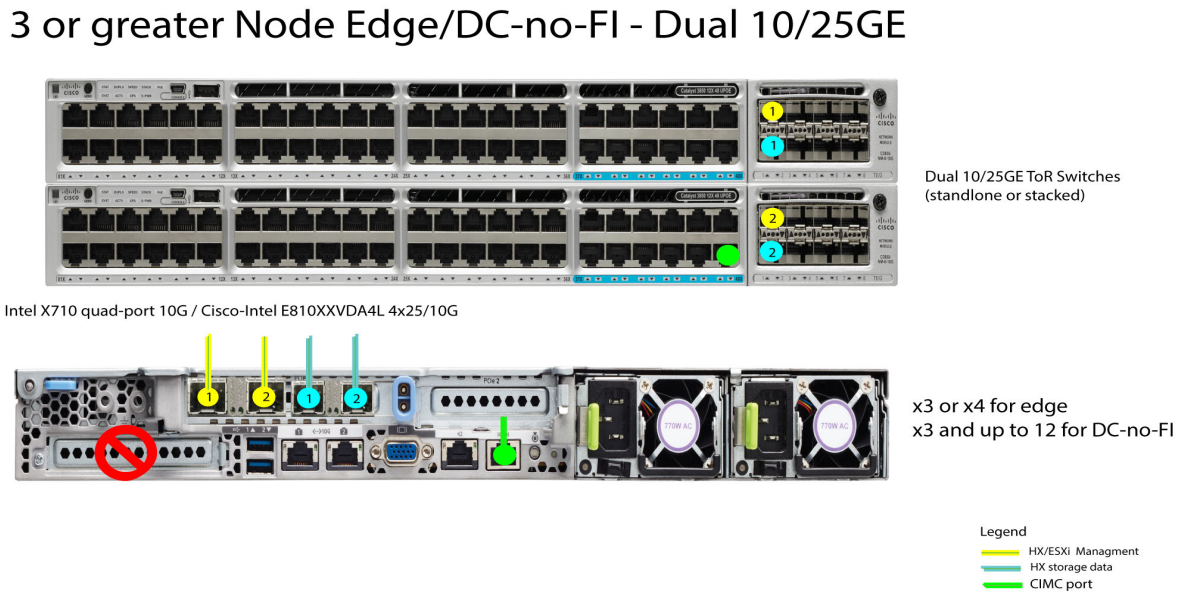


NIC に基づいた 10 または 25 ギガビット イーサネット デュアル スイッチ トポロジ (クワッド ポート)

デュアル スイッチの設定には、スイッチの障害、リンクの障害、ポートの障害から保護する完全な冗長性を備えた、少し複雑なトポロジが含まれます。スタンドアロンまたはスタック構成が行われている 2 つのスイッチと、4 つの 10/25GE ポート、CIMC 管理用の 1 つの 1GE ポート、サーバーごとに 1 つのクワッド ポートが必要です。トランク ポートは唯一のサポートされるネットワーク ポート構成です。詳細については、「10/25 ギガビット イーサネット スイッチ構成ガイドライン」を参照してください。

このトポロジを展開するには、*表 13* から接続モードを選択します。

図 10　クワッド ポート NIC に基づいた 10/25 GE デュアル スイッチ トポロジの物理的なケーブル配線イメージ。

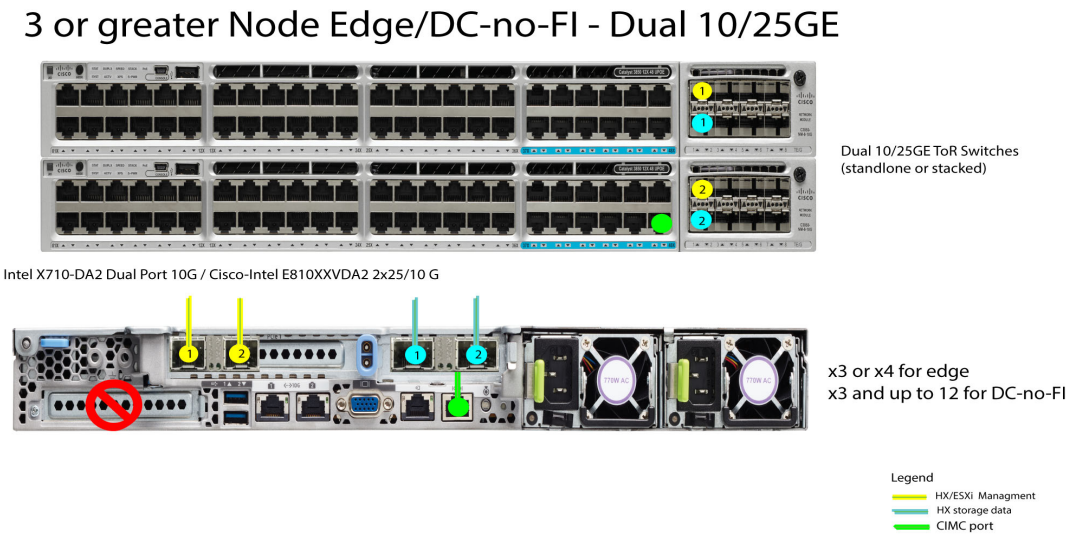


NIC に基づいた 10 または 25 ギガビット イーサネット デュアル スイッチ トポロジ（デュアル ポート）

デュアル スイッチの設定には、スイッチの障害、リンクの障害、ポートの障害から保護する完全な冗長性を備えた、少し複雑なトポロジが含まれます。スタンドアロンまたはスタック構成が行われている 2 つのスイッチと、4 つの 10/25GE ポート、CIMC 管理用の 1 つの 1GE ポート、サーバーごとに 2 つのデュアル ポートが必要です。トランク ポートは唯一のサポートされるネットワーク ポート構成です。詳細については、「10/25 ギガビット イーサネット スイッチ構成ガイドライン」を参照してください。

このトポロジを展開するには、*表 13* から接続モードを選択します。

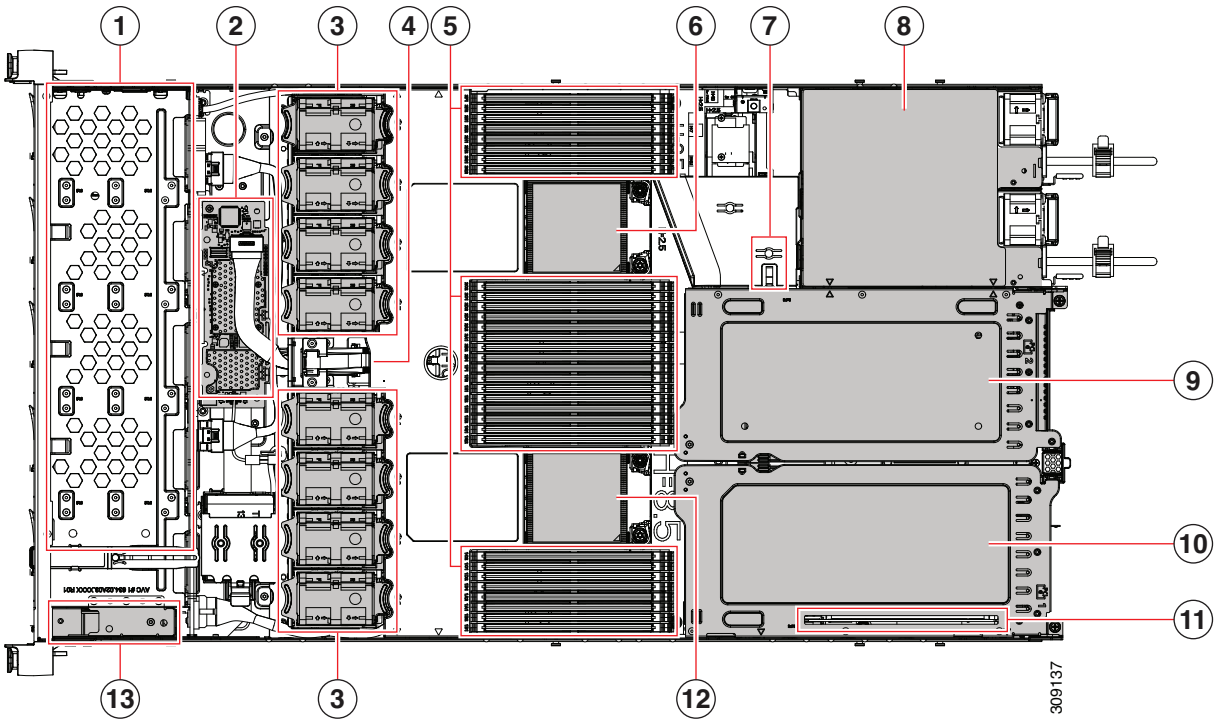
図 11　デュアル ポート NIC に基づいた 10/25 GE デュアル スイッチ トポロジの物理的なケーブル配線イメージ。



シャーシ

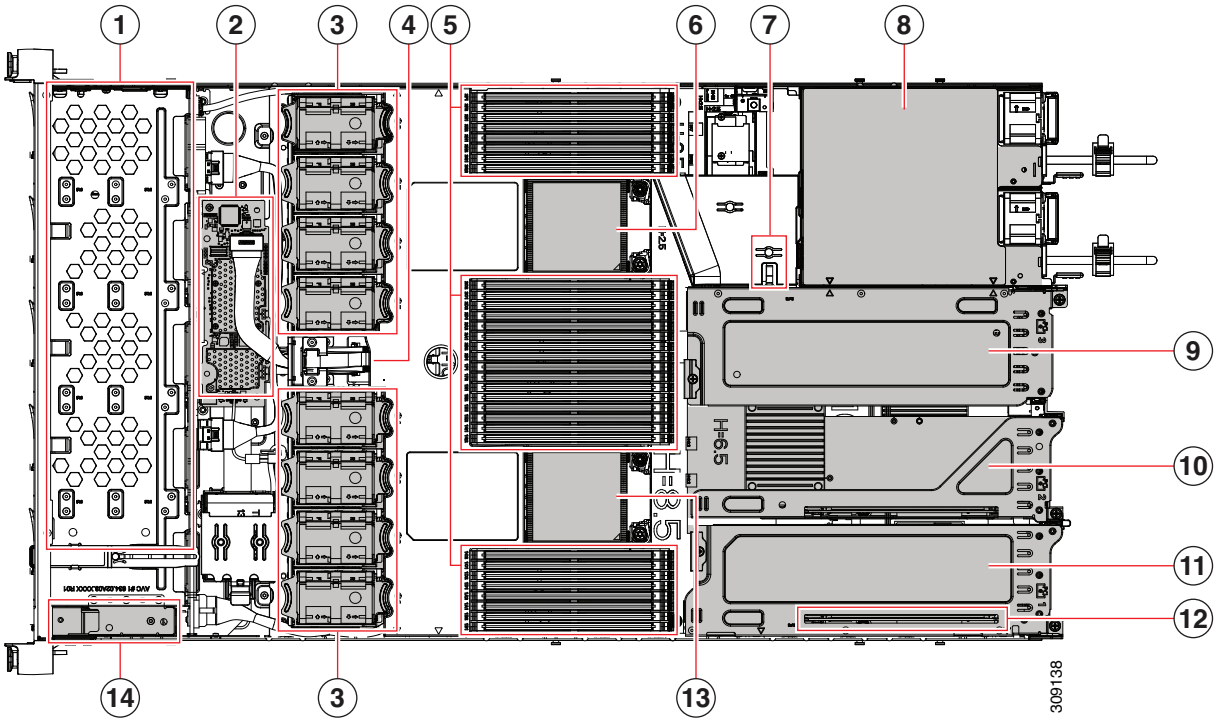
上部カバーを取り外した HX225C M6S All Flash およびハイブリッドシャーシの内部図を *図 12* と *図 13、(66 ページ)* に示します。

図 12　上部カバーがオフの HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッド（フルハイト、フル幅の PCIe カード）



1	フロントローディング ドライブ ベイ	2	M6 モジュラ RAID カード
3	冷却ファン モジュール（8 個） 各ファンはホットスワップ可能です	4	SuperCap モジュールの取り付けブラケット
5	マザーボード上の DIMM ソケット、合計 32 個（CPU あたり 16 個） CPU は、上部の CPU の上と下部の CPU の下に 8 個のソケットグループに配置され、CPU 間に 16 のソケットがあります。	6	マザーボード CPU2 ソケット
7	M.2 モジュールコネクタ（2 つまでの SATA M.2 SSD のコネクタを搭載したブート最適化 RAID コントローラをサポート）	8	2 つの電源モジュール
9	PCIe ライザー 2 フルハイト、フル幅の PCIe ライザー カード 1 枚に対応	10	PCIe ライザー 1 1 フル ハイト、フル幅 PCIe ライザー カードを受け入れます
11	シャーシ フロア（x16 PCIe レーン）上のモジュラ LOM（mLOM）カード ベイ コネクタは示されていますが、カード ベイは PCIe ライザー スロット 1 の下にあります。	12	マザーボード CPU1 ソケット
13	前面パネル コントローラ ボード	-	

図 13　上部カバーがオフの HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッド（フルハイト、ハーフ幅の PCIe カード）



1	フロントローディング ドライブ ベイ	2	M6 モジュラ RAID カード
3	冷却ファン モジュール（8 個） 各ファンはホットスワップ可能です	4	SuperCap モジュールの取り付けブラケット
5	マザーボード上の DIMM ソケット、合計 32 個（CPU あたり 16 個） CPU は、上部の CPU の上と下部の CPU の下に 8 個のソケット グループに配置され、CPU 間に 16 のソケットがあります。	6	マザーボード CPU2 ソケット
7	M.2 モジュールコネクタ（2 つまでの SATA M.2 SSD のコネクタを搭載したブート最適化 RAID コントローラをサポート）	8	2 つの電源モジュール
9	PCIe ライザー 3 ハーフハイト、ハーフ幅の PCIe ライザー カード 1 枚に対応	10	PCIe ライザー 2 1 ハーフ ハイト、ハーフ幅 PCIe ライザー カードを受け入れます
11	PCIe ライザー スロット 1： 1 ハーフ ハイト、ハーフ幅 PCIe ライザー カードを受け入れます	12	シャーシ フロア（x16 PCIe レーン）上のモジュラ LOM（mLOM）カード ベイ コネクタは示されていますが、カード ベイは PCIe ライザー スロット 1 の下にあります。
13	マザーボード CPU1 ソケット	14	前面パネル コントローラ ボード

ライザー

図 14 に、HX225C M6S All Flash およびハイブリッドサーバーノード マザーボード上の PCIe ライザーコネクタの位置を示します。許可される設定は次のとおりです。

- ライザー 1、2、および 3 コネクタのハーフハイト ライザー（または *図 15* を参照）
- ライザー 1 および 3 コネクタのフルハイト ライザー（*図 16* を参照）。

図 14　HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッドサーバーノードのライザーコネクタの位置

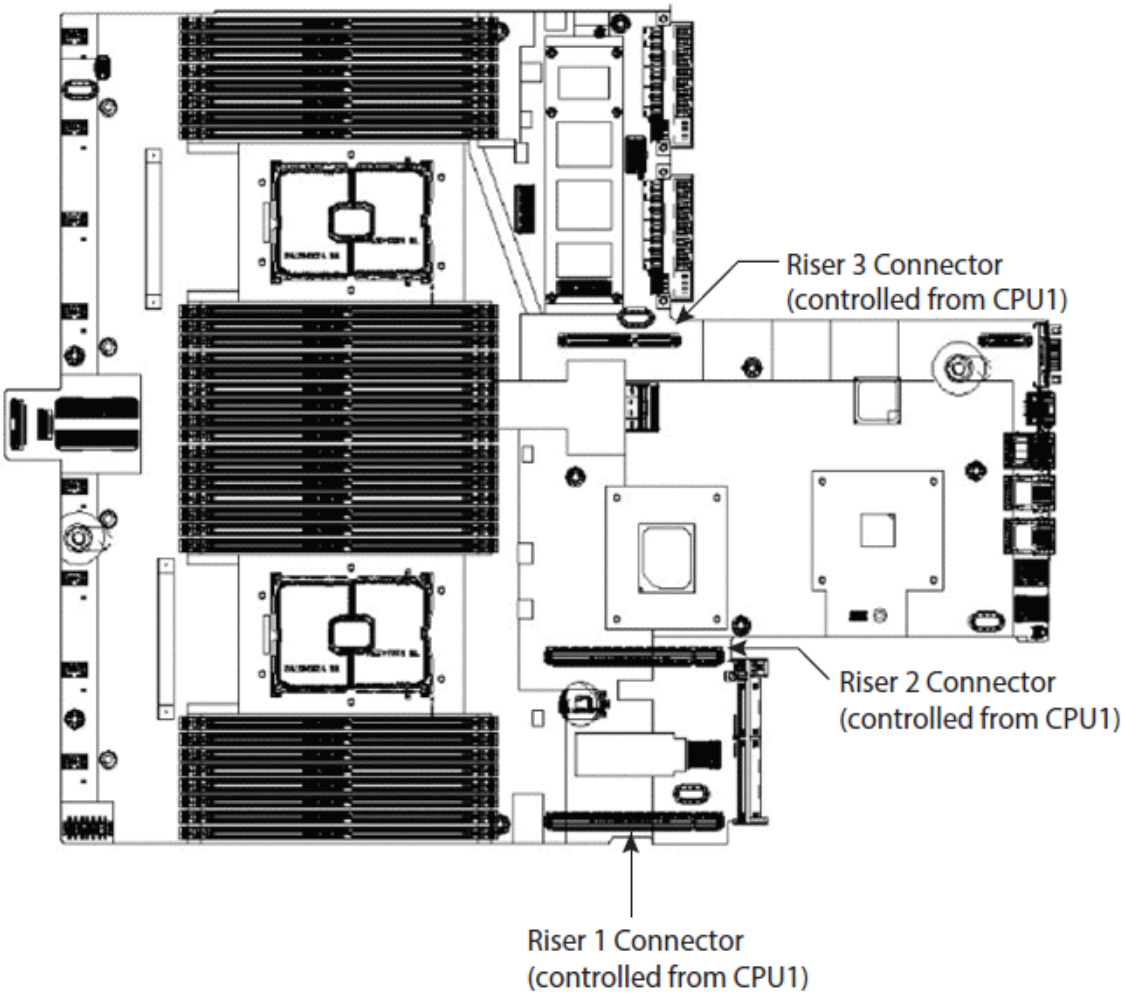


図 15 は、3 つのハーフハイト ライザーをそれぞれのコネクタに接続した状態を示しています。

図 15　3 つのハーフハイトライザーが接続された HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッド サーバーノード

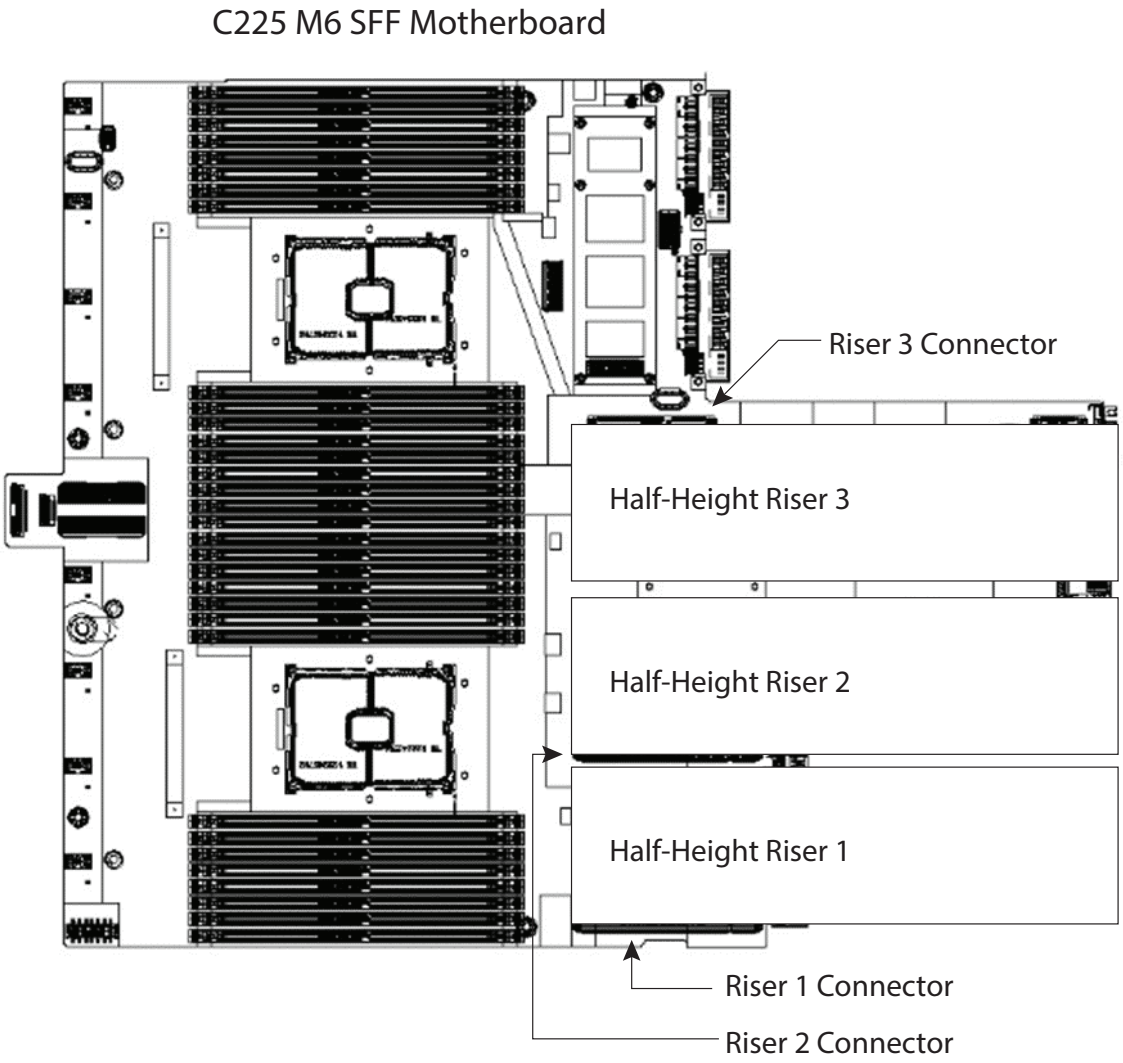
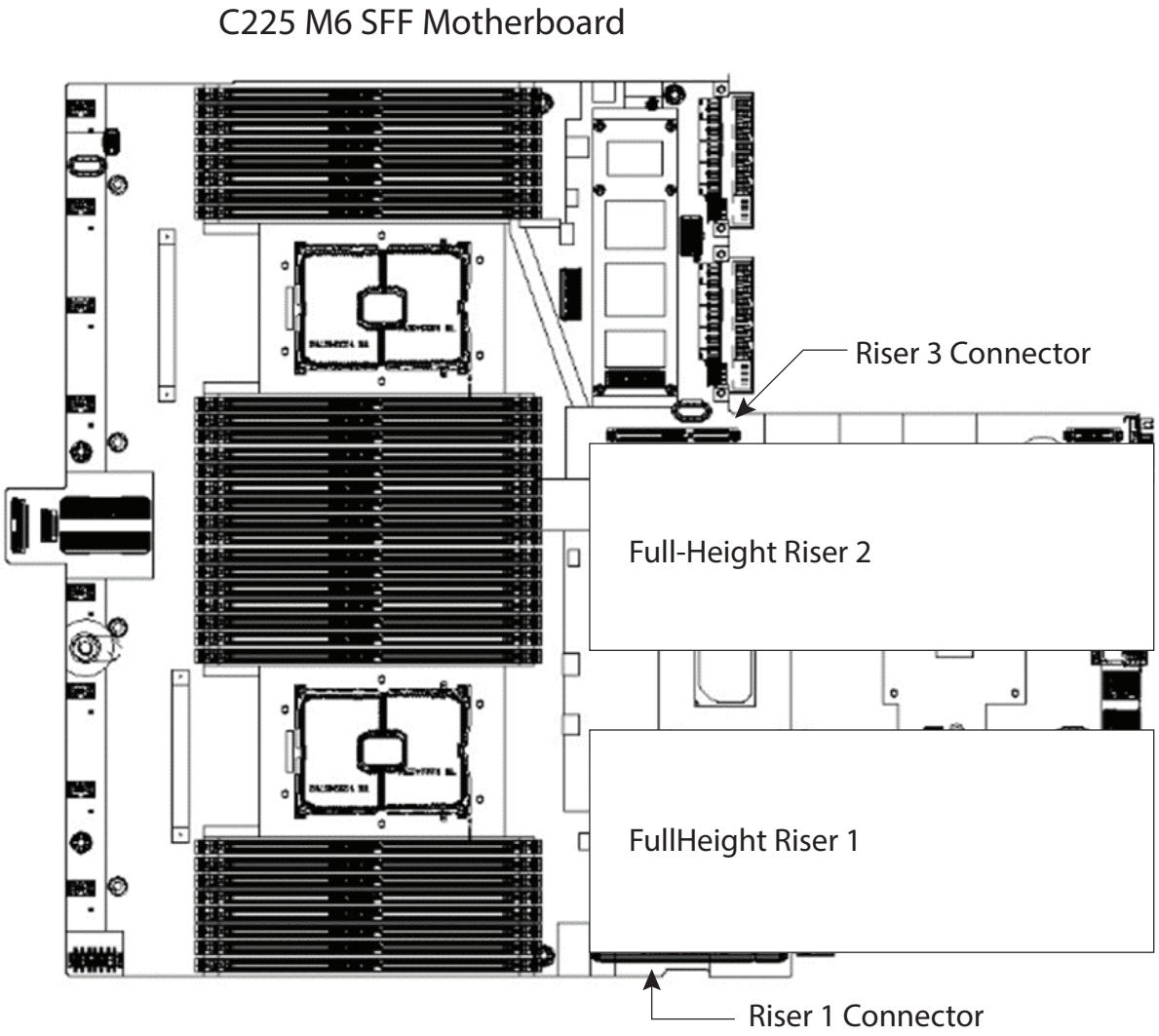


図 16 2 つのフルハイト ライザーが接続されていることを示します。ライザー 1 はライザー 1 コネクタに接続され、ライザー 2 はライザー 3 コネクタに接続されています。ライザー 2 コネクタは使用されません。

図 16　2 つのフルハイトライザーが接続された HyperFlex HX225C M6S All Flash/ ハイブリッドサーバーノード



AMD ROM および MILAN CPU のメモリ サポート

各 CPU には 16 個の DIMM ソケットがあり、16 x 128 GB DRAM を使用して最大 2 GB のメモリ容量をサポートします。

CPU は、*表 38* に示す DRAM をサポートしています。

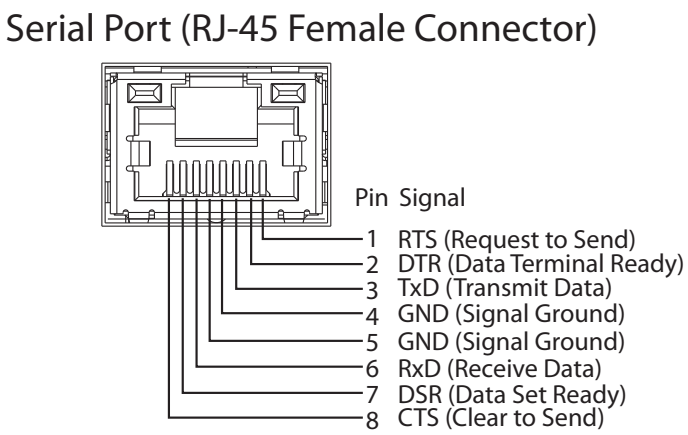
表 38 サポートされる DRAM

DRAM タイプ	ランク	容量
RDIMM	1（SR）	16 GB または 32 GB
RDIMM	2（DR）	32 GB または 64 GB
LRDIMM	4（QR）	128 GB（非 3DS）

シリアル ポートの詳細

背面にある RJ-45 シリアル ポート コネクタのピン割り当ての詳細を *図 17* に示します。

図 17 シリアル ポート（RJ-45 のメス コネクタ）のピン割り当て



KVM ケーブル

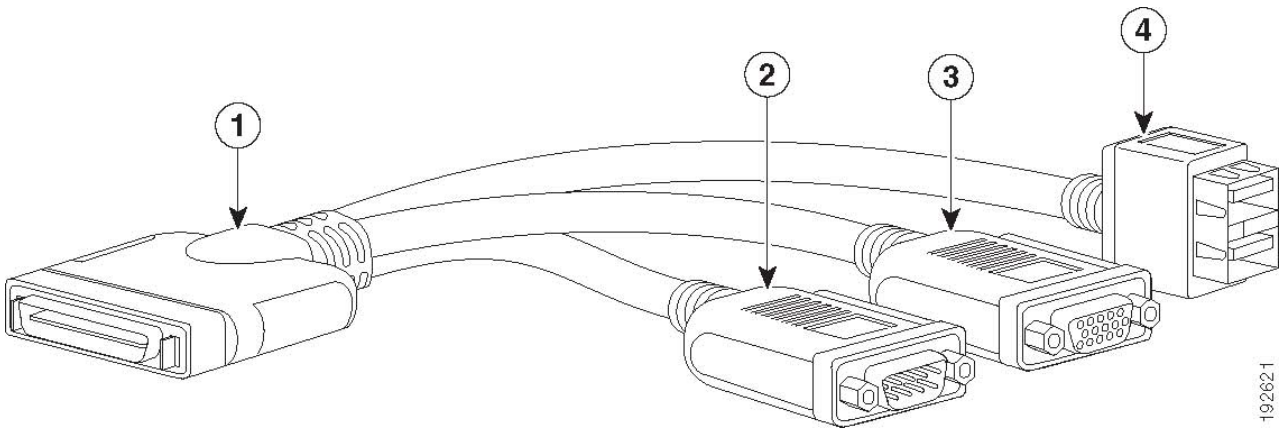
KVM ケーブルはサーバーへの接続用のケーブルで、DB9 シリアルコネクタ、モニター用の VGA コネクタ、キーボードおよびマウス用のデュアル USB ポートが付いています。このケーブルを使用すると、サーバで実行されているオペレーティング システムと BIOS に直接接続できます。

KVM ケーブルの注文情報を *表 39* に示します。

表 39 KVM ケーブル

製品 ID（PID）	PID の説明
N20-BKVM	UCS サーバ コンソール ポート用の KVM ケーブル

図 18 KVM ケーブル



1	コネクタ（サーバの前面パネルに接続）	3	モニタ用の VGA コネクタ
2	DB-9 シリアル コネクタ	4	マウスおよびキーボード用の 2 ポート USB コネクタ

スペア部品

このセクションでは、HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッドサーバーノード用のアップグレード関連部品と保守関連部品を示します。これらの部品の一部は、すべてのサーバに構成されています。

注：注文したスペア部品の中には、完全に機能を使用するためにアクセサリが必要なものもあります。たとえば、ドライブまたは RAID コントローラに付属のケーブルが必要な場合があります。CPU には、ヒートシンク、サーマル ペースト、および取り付け工具が必要な場合があります。スペアとそのアクセサリ部品を *表 40* に示します。

表 40 スペア部品

製品 ID（PID）	PID の説明
KVM ケーブル	
N20-BKVM=	UCS サーバ コンソール ポート用の KVM ローカル IO ケーブル
ライザー	
UCSC-R2R3-C220M6=	2 つのハーフハイト ライザー（ライザー 2 および 3）を含むキット：
HX-GPURKIT-C220=	GPU 取り付けブラケットと次のライザー（ライザー 1 および 2）を含むキット
UCSC-FBRS-C220 M6=	ライザー 2 およびライザー 3 のブランク パネル
CPU **注：**スペア CPU を注文する場合は、この表の「**CPU アクセサリ**」セクションで必要な追加部品を確認してください。	
HX-CPU-A7773X=	AMD 2.20GHz 7773X 280W 64C/768MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7763=	AMD 2.5GHz 7763 280W 64C/256MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7713P=	AMD 2.0GHz 7713P 225W 64C/256MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7713=	AMD 2.0GHz 7713 225W 64C/256MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7663=	AMD 2.0GHz 7663 225W 56C/256MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7662=	AMD 2.0GHz 7662 225W 64C/256MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7643=	AMD 2.3GHz 7643 225W 48C/256MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A75F3=	AMD 2.95GHz 75F3 280W 32C/256MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7573X=	AMD 2.80GHz 7573X 280W 32C/768MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7543P=	AMD 2.7GHz 7543P 225W 32C/256MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7543=	AMD 2.7GHz 7543 225W 32C/256MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7532=	AMD 2.4GHz 7532 200W 32C/256MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7513=	AMD 2.6GHz 7513 200W 32C/128MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7502P=	AMD 2.5GHz 7502P 180W 32C/128MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A74F3=	AMD 3.2GHz 74F3 240W 24C/256MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7473X=	AMD 2.80GHz 7473X 240W 24C/768MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7453=	AMD 2.75GHz 7453 180W 28C/64MB キャッシュ DDR4 3200MHz

表 40 スペア部品 *（続き）*

製品 ID（PID）	PID の説明
HX-CPU-A7443P=	AMD 2.85GHz 7443P 200W 24C/128MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7443=	AAMD 2.8GHz 7443 200W 24C/128MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7413=	AMD 2.6GHz 7413 180W 24C/128MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A73F3=	AMD 3.5GHz 73F3 240W 16C/256MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7373X=	AMD 3.05GHz 7373X 240W 16C/768MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7352=	AMD 2.3GHz 7352 155W 24C/128MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7343=	AMD 3.2GHz 7343 190W 16C/128MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7313P=	AMD 3.0GHz 7313P 155W 16C/128MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7313=	AMD 2.9GHz 7313 155W 16C/128MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7302=	AMD 3.0GHz 7302 155W 16C/128MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A72F3=	AMD 3.7GHz 72F3 180W 8C/256MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7282=	AMD 2.8GHz 7282 120W 16C/64MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7272=	AMD 2.9GHz 7272 120W 12C/64MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7262=	AMD 3.2GHz 7262 155W 8C/128MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7252=	AMD 3.1GHz 7252 120W 8C/64MB キャッシュ DDR4 3200MHz
HX-CPU-A7232P=	AMD 3.1GHz 7232P 120W 8C/32MB キャッシュ DDR4 3200MHz
CPU アクセサリ	
HX-HSHP-225M6=	Heatsink 1U SFF M6 PCIe SKU
HX-CPU-TIM =	M5 サーバ HS シール用シングル CPU サーマル インターフェイス マテリアル シリンジ[1]
UCSX-HSCK=	UCS プロセッサ ヒート シンク クリーニング キット（CPU の交換時）[2]
HX-CPUAT =	M5 サーバ用 CPU アセンブリ ツール
HX-M5-CPU-CAR=	UCS M5 CPU キャリア
メモリ	
HX-MR-X16G1RW=	16 GB RDIMM SRx4 3200（8Gb）
HX-MR-X32G1RW =	32GB RDIMM SRx4 3200 (16Gb)
HX-MR-X32G2RW=	32 GB RDIMM DRx4 3200（8Gb）
HX-MR-X64G2RW=	64 GB RDIMM DRx4 3200（16Gb）
HX-ML-128G4RW=	128 GB LRDIMM QRx4 3200（16Gb）
HX-DIMM-BLK=	UCS DIMM ブランク パネル - C480M5
ドライブ	
HXAF225-M6S (All Flash)	
フロント キャパシティ ドライブ	
HX-SD960G6S1X-EV=	960GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD
HX-SD19T6S1X-EV=	1.9 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6 G SATA SSD
HX-SD38T6S1X-EV=	3.8 TB 2.5 インチ Enterprise Value 6 G SATA SSD
HX-SD76T6S1X-EV=	7.6TB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD
前面キャッシュ ドライブ	
HX-NVMEXPB-I375=	375GB 2.5 インチ Intel Optane NVMe Extreme Performance SSD

表 40 スペア部品 *（続き）*

製品 ID（PID）	PID の説明
HX-NVMEM6-W1600=	1.6TB 2.5in U.2 WD SN840 NVMe Extreme Perf. 高耐久性
HX-SD800GS3X-EP=	800GB 2.5 インチ Enterprise Performance 12G SAS SSD（3 倍の耐久性）
前面システム ドライブ	
HX-SD240GM1X-EV=	240 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD
ブートドライブ	
HX-M2-240GB=	240GB SATA M.2
HX-M2-HWRAID=	Cisco ブート最適化 M.2 Raid コントローラ
HX225-M6S (Hybrid)	
フロント キャパシティ ドライブ	
HX-HD12TB10K12N=	1.2 TB 12G SAS 10K RPM SFF HDD
HX-HD18TB10K4KN=	1.8 TB 12G SAS 10K RPM SFF HDD（4K）
HX-HD24TB10K4KN=	2.4TB 12G SAS 10K RPM SFF HDD（4K）
フロント キャッシュ ドライブ	
HX-SD480G63X-EP=	480 GB 2.5 インチ Enterprise Performance 6G SATA SSD（3 倍の耐久性）
HX-SD800GS3X-EP=	800GB 2.5 インチ Enterprise Performance 12G SAS SSD（3 倍の耐久性）
前面システム ドライブ	
HX-SD240GM1X-EV=	240 GB 2.5 インチ Enterprise Value 6G SATA SSD
ブートドライブ	
HX-M2-240GB=	240GB SATA M.2
HX-M2-HWRAID=	Cisco ブート最適化 M.2 Raid コントローラ
ドライブ ブランク パネル	
HX-BBLKD-S2=	C シリーズ M5 SFF ドライブ ブランク パネル
RAID コントローラ **注：**追加の RAID コントローラを注文する場合は、RAID コントローラからマザーボードに接続するケーブルを注文する必要があります。この表の「**RAID コントローラ ケーブル**」のセクションを参照してくださ	
HX-SAS-220M6=	Cisco 12G SAS Tri Mode HBA、最大 16 ドライブ 1U w / 1U Brkt（PR）
HX-M2-HWRAID=	Cisco ブート最適化 M.2 RAID コントローラ（最大 2 台の M.2 SATA SSD を保持）
RAID コントローラ ケーブル	
CBL-SAS-C225M6 = **注：**HX-SAS-220M6 SAS コントローラを追加する場合は、このケーブルを注文してください	ケーブル、MB ~ SAS/RAID コントローラおよび HDD BKPLN
ロー プロファイル ブラケット	
UCSC-LP-C25-1485=	VIC 用低プロファイル ブラケット

表 40 スペア部品 *（続き）*

製品 ID（PID）	PID の説明
UCSC-LP-C40-1485=	VIC1495 用低プロファイル ブラケット
SuperCap	
HX-SCAP-M6=	M6 SuperCap
CBL-SCAP-C220M6 =	C220M6 1U Super Cap ケーブル
PCIe カード	
Virtual Inter=face Card (VICs)	
HX-PCIE-C100-04=	Cisco UCS VIC 1495 デュアル ポート 40/100G QSFP28 CNA PCIe
HX-PCIE-C25Q-04=	Cisco UCS VIC 1455 クァッド ポート 10/25G SFP28 PCIe
ネットワーク インターフェイス カード（NIC）	
1 Gb NIC	
HX-PCIE-IRJ45=	Intel i350 クアッドポート 1Gb アダプタ
10 Gb NIC	
HX-PCIE-ID10GF=	Intel X710-DA2 デュアル ポート 10Gb SFP+ NIC
HX-PCIE-IQ10GF=	Intel X710 クアッド ポート 10G SFP+ NIC
HX-P-ID10GC=	Cisco-Intel X710T2LG 2x10 GbE RJ45 PCIe NIC
25 Gb NIC	
HX-P-I8D25GF=	Cisco-Intel E810XXVDA2 2x25/10 GbE SFP28 PCIe NIC
HX-P-I8Q25GF[2] =	Cisco-Intel E810XXVDA4L 4x25/10 GbE SFP28 PCIe NIC
電源	
HX-PSU1-1050W=	C シリーズ サーバ用 1050 WAC 電源ユニット
HX-PSUV2-1050DC=	C シリーズ サーバ用 1050W DC 電源ユニット
HX-PSU1-1600W=	C シリーズ サーバ用 1600W AC 電源ユニット
電源ブランク パネル	
UCS-PSU-M5BLK=	M5 サーバ用電源ブランク パネル
電源ケーブル	
CAB-48DC-40A-8AWG=	C シリーズ - 48VDC PSU 電源コード、3.5 m、3 ワイヤ、8AWG、40A
CAB-N5K6A-NA=	電源コード、200/240 V 6 A（北米）
CAB-AC-L620-C13=	AC 電源コード、NEMA L6-20 - C13、2 m/6.5 フィート
CAB-C13-CBN=	CABASY、ワイヤ、ジャンパ コード、27 インチ L、C13/C14、10A/250V
CAB-C13-C14-2M=	CABASY、ワイヤ、ジャンパ コード、PWR、2 m、C13/C14、10A/250V
CAB-C13-C14-AC=	コード、PWR、JMP、IEC60320/C14、IEC6 0320/C13、3.0m
CAB-250V-10A-AR=	電源コード、250 V、10 A（アルゼンチン仕様）
CAB-9K10A-AU=	電源コード、250 VAC、10 A、3112 プラグ（オーストラリア仕様）
CAB-250V-10A-CN=	AC 電源コード、250 V、10 A（中国仕様）
CAB-9K10A-EU=	電源コード、250 VAC、10 A、CEE 7/7 プラグ（EU 仕様）
CAB-250V-10A-ID=	電源コード、250 V、10 A（インド仕様）
CAB-C13-C14-3M-IN=	電源コード ジャンパ、C13-C14 コネクタ、長さ 3 m、インド
CAB-C13-C14-IN =	電源コード ジャンパ、C13-C14 コネクタ、長さ 1.4 m、インド

表 40 スペア部品 *（続き）*

製品 ID（PID）	PID の説明
CAB-250V-10A-IS=	電源コード、SFS、250 V、10 A（イスラエル仕様）
CAB-9K10A-IT=	電源コード、250 VAC、10 A、CEI 23-16/VII プラグ（イタリア仕様）
CAB-9K10A-SW=	電源コード、250 VAC 10 A MP232 プラグ（スイス仕様）
CAB-9K10A-UK=	電源コード、250 VAC、10 A、BS1363 プラグ（13 A ヒューズ）（英国）
CAB-9K12A-NA[3] =	電源コード、125 VAC、13 A、NEMA 5-15 プラグ（北米）
CAB-250V-10A-BR=	電源コード、250 V、10 A（ブラジル）
CAB-C13-C14-2M-JP=	電源コード C13-C14、2m/6.5 フィート、日本 PSE マーク
CAB-9K10A-KOR[1]=	電源コード、125 VAC 13 A KSC8305 プラグ（韓国仕様）
CAB-ACTW	AC 電源コード（台湾）、C13、EL 302、2.3 m
CAB-JPN-3PIN=	日本仕様、90-125 VAC 12 A NEMA 5-15 プラグ、2.4 m
CAB-48DC-40A-INT=	C シリーズ -48VDC PSU 電源コード、3.5 m、3 ワイヤ、8AWG、40A（INT）
CAB-48DC-40A-AS=	C シリーズ -48VDC PSU 電源コード、3.5 m、3 ワイヤ、8AWG、40A（AS/NZ）
レール キットと CMA	
HX-RAIL-M6=	C220 および C240 M6 ラック サーバ用ボール ベアリング レール キット
HX-CMA-C220M6=	C220 M6 ボール ベアリング レール キット用のリバーシブル CMA
HX-RAIL-NONE=	レール キット オプションなし
TPM	
UCSX-TPM2-002B-C =	UCS サーバ用トラステッド プラットフォーム モジュール 2.0
HX-INT-SW02=	シャーシ侵入スイッチ
ベゼル	
HXAF240C-BZL-M5SX=	HXAF240C M5 セキュリティ ベゼル
HX240C-BZL-M5S=	HX240C M5 エッジ セキュリティ ベゼル
VMware PAC ライセンス	
HX-VSP-EPL-1A=	VMware vSphere 7.x Ent Plus（1 CPU、32 コア）、1 年サポートが必要
HX-VSP-EPL-3A=	VMware vSphere 7.x Ent Plus（1 CPU、32 コア）、3 年サポートが必要
HX-VSP-EPL-5A=	VMware vSphere 7.x Ent Plus（1 CPU、32 コア）、5 年サポートが必要
HX-VSP-STD-1A=	VMware vSphere 7.x Standard（1 CPU、32 コア）、1 年サポートが必要
HX-VSP-STD-3A=	VMware vSphere 7.x Standard（1 CPU、32 コア）、3 年サポートが必要
HX-VSP-STD-5A=	VMware vSphere 7.x Standard（1 CPU、32 コア）、5 年サポートが必要

注：

1. この部品は、購入したオプション、スペアの CPU、または CPU プロセッサ キットに同梱されています。
2. HX-P-I8Q25GF を選択した場合は、HX-GPURKIT-C220 PID を選択する必要があります
3. この電源コードは定格が 125 V で、定格 1050 W 以下の PSU のみをサポートします。

インストール手順については、「Cisco HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッドサーバーノードのインストールおよびサービスガイド」を参照してください。次のリンクを参照してください。
https://www.cisco.com/content/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/c/hw/c225m6/install/c225m6.html

CPU およびヒートシンクの交換

注：CPU を保守する前に、次の手順を実行します。

- デコミッションしてから、サーバの電源をオフにします。
- Cisco HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッドサーバノードをラックから引き出します。
- 上部カバーを取り外します。

注：

- CPU とそのソケットは壊れやすいので、ピンを損傷しないように細心の注意を払って扱う必要があります。CPU はヒートシンクとサーマル インターフェイス マテリアルとともに取り付け、適切に冷却されるようにする必要があります。CPU を正しく取り付けないと、サーバが損傷することがあります。
- 手順で説明されているように、シャーシから取り外す前にサーバを必ずシャットダウンするようにしてください。取り外す前にサーバをシャットダウンしなかった場合、対応する RAID supercap のキャッシュが破棄され、その他のデータが失われる可能性があります。

既存の CPU を交換するには、次の手順を実行します。

(1) 手順で使用可能な次のツールと資材を用意します。

- T-20 トルクス ドライバ：交換用 CPU に付属。
- サーマル インターフェイス マテリアル（TIM）：交換用 CPU に付属しているシリンジ。

(2) から適切な交換用 CPU を発注します *表 6 (21 ページ)*。

(3)「Cisco HyperFlex HX225C M6S All Flash およびハイブリッド M5 SD サーバーインストールおよびサービスガイド」に記載されている手順（次の URL のリンク先を参照）に従って、CPU とヒートシンクを慎重に取り外して交換します。

https://www.cisco.com/content/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/c/hw/c225m6/install/c225m6.html

新しい CPU を追加するには、次の手順を実行します。

(1) 手順で使用可能な次のツールと資材を用意します。

- T-30 トルクスドライバ（新しい CPU に同梱されています）。
- サーマル インターフェイス マテリアル（TIM）：交換用 CPU に付属しているシリンジ。

(2) *表 6 (21 ページ)* から適切な新しい CPU を注文します。

(3) 新しい CPU ごとにヒートシンクを 1 つ発注します。ダブル幅または A10 GPU を取り付けていない場合は、PID HX-HSHP-225M6 を注文します。その場合は、PID HX-HSLP-225M6 を注文してください。

(4)「Cisco UCS C220 M6 サーバーインストールおよびサービスガイド」の指示に従い、CPU およびヒートシンクを慎重にインストールします。

メモリのアップグレードまたは交換

注：DIMM を保守する前に、次を行います。

- デコミッションしてから、サーバの電源をオフにします。
- サーバの上部カバーを外します。
- サーバをシャーシの前面から引き出します。

DIMM を追加または交換するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 両側の DIMM コネクタ ラッチを開きます。

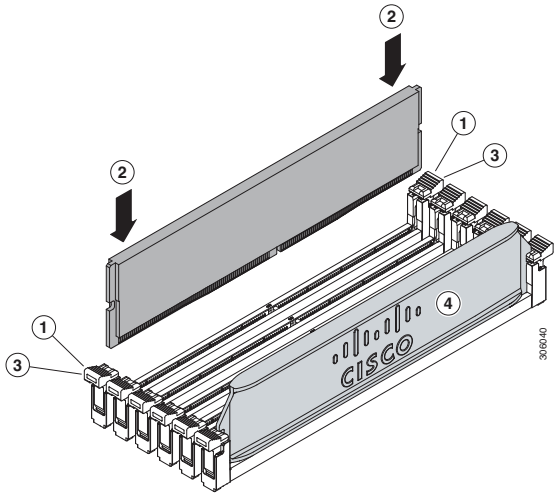
ステップ 2 カチッという音がするまで、DIMM の両端を均等にスロットに押し込みます。

注：DIMM のノッチがスロットに合っていることを確認します。ノッチが合っていないと、DIMM またはスロット、あるいはその両方が破損するおそれがあります。

ステップ 3 DIMM コネクタ ラッチを内側に少し押して、ラッチを完全にかけます。

ステップ 4 すべてのスロットに DIMM または DIMM ブランクを装着します。スロットを空にすることはできません。

図 19 メモリの交換



DIMM の交換またはアップグレード方法の詳細については、次のリンクにある『**Cisco UCS C240 M6 サーバ設置およびサービスガイド**』を参照してください。

https://www.cisco.com/content/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/c/hw/c225m6/install/c225m6.html

技術仕様

寸法と重量

表 41 HyperFlex HX225C M6S All Flash および Hybrid サーバーノードの寸法と重量

パラメータ	値
高さ	4.3 cm（1.70 インチ）
幅（スラム ラッチを含みません）	42.9 cm（16.9 インチ）
幅（スラム ラッチを含む）	48.0 cm（18.9 インチ）
奥行き	76.2 cm（30 インチ）
前面のスペース	76 mm（3 インチ）
周囲と側面の間に必要な隙間	25 mm（1 インチ）
背面のスペース	152 mm（6 インチ）
重量	
次のオプション付きでレール キットなしの重量： HDD X 1、CPU X 1、DIMM X 1、および 1600 W 電源 X 1	10.1 kg（22.32 ポンド）
次のオプションとレールキットを含む重量： 1 HDD、1 CPU、1 DIMM、および 1 1600 W 電源	14.7 kg（32.38 ポンド）
次のオプション付きでレール キットなしの重量： 10 個の HDD、2 個の CPU、32 個の DIMM、および 2 個の 1600 W 電源	14.7 kg（32.38 ポンド）
次のオプションとレール キット付きの重量： 10 HDD、2 CPU、32 DIMM、および 2 1600 W 電源	19.3 kg（42.43 ポンド）

電力仕様

サーバには、以下の電源ユニットを使用できます。

- 1050 W AC 電源装置（*表 42* を参照）
- 1050 W V2（DC）電源ユニット（*表 43* を参照）
- 1600 W AC 電源装置（*表 44* を参照）

表 42 HyperFlex HX225C M6S All Flash および Hybrid サーバーノードの電源仕様（1050 W AC 電源

パラメータ	仕様			
入力コネクタ	IEC320 C14			
入力電圧範囲（V rms）	100 ~ 240			
最大許容入力電圧範囲（V rms）	90 ~ 264			
周波数範囲（Hz）	50 ~ 60			
最大許容周波数範囲（Hz）	47 ~ 63			
最大定格出力（W）[1]	800		1050	
最大定格スタンバイ出力（W）	36			
公称入力電圧（V rms）	100	120	208	230
公称入力電流（A rms）	9.2	7.6	5.8	5.2
公称入力電圧の最大入力（W）	889	889	1167	1154
公称入力電圧の最大入力（VA）	916	916	1203	1190
最小定格効率（%）[2]	90	90	90	91
最小定格力率 [2]	0.97	0.97	0.97	0.97
最大突入電流（A ピーク）	15			
最大突入電流（ms）	0.2			
最小ライドスルー時間（ms）[3]	12			

注：

1. ローライン入力電圧（100 ~ 127 V）で動作時の最大定格出力は 800 W に制限されます
2. これは、80 Plus Platinum 認証を得るのに必要な最小定格です。認定値については http://www.80plus.org/ [英語] で公開されているテストレポートを参照してください。
3. 入力電圧のドロップアウト時、時間出力電圧は 100% 負荷の状態で規制の範囲内に留まります

表 43 HyperFlex HX225C M6S All Flash および Hybrid サーバーノードの電源仕様（1050 W V2 DC 電源）

パラメータ	仕様
入力コネクタ	Molex 42820
入力電圧範囲（V rms）	-48
最大許容入力電圧範囲（V rms）	-40 ~ -72
周波数範囲（Hz）	該当なし
最大許容周波数範囲（Hz）	該当なし
最大定格出力（W）	1050
最大定格スタンバイ出力（W）	36
公称入力電圧（V rms）	-48
公称入力電流（A rms）	24
公称入力電圧の最大入力（W）	1154
公称入力電圧の最大入力（VA）	1154
最小定格効率（%）[1]	91
最小定格力率 [1]	該当なし
最大突入電流（A ピーク）	15
最大突入電流（ms）	0.2
最小ライドスルー時間（ms）[2]	5

注：

1. これは、80 Plus Platinum 認証を得るのに必要な最小定格です。認定値については http://www.80plus.org/ [英語] で公開されているテストレポートを参照してください。
2. 入力電圧のドロップアウト時、時間出力電圧は 100% 負荷の状態で規制の範囲内に留まります。

表 44 HyperFlex HX225CM6S All Flash および Hybrid 1600W（AC）電源仕様

パラメータ	仕様			
入力コネクタ	IEC320 C14			
入力電圧範囲（V rms）	200 ~ 240			
最大許容入力電圧範囲（V rms）	180 ~ 264			
周波数範囲（Hz）	50 ~ 60			
最大許容周波数範囲（Hz）	47 ~ 63			
最大定格出力（W）[1]	1600			
最大定格スタンバイ出力（W）	36			
公称入力電圧（V rms）	100	120	208	230
公称入力電流（A rms）	該当なし	該当なし	8.8	7.9
公称入力電圧の最大入力（W）	該当なし	該当なし	1778	1758
公称入力電圧の最大入力（VA）	該当なし	該当なし	1833	1813
最小定格効率（%）[2]	該当なし	該当なし	90	91
最小定格力率 [2]	該当なし	該当なし	0.97	0.97
最大突入電流（A ピーク）	30			
最大突入電流（ms）	0.2			
最小ライドスルー時間（ms）[3]	12			

注：

1. ローライン入力電圧（100 ~ 127 V）で動作時の最大定格出力は 800 W に制限されます
2. これは、80 Plus Platinum 認証を得るのに必要な最小定格です。認定値については http://www.80plus.org/ [英語] で公開されているテストレポートを参照してください。
3. 入力電圧のドロップアウト時、時間出力電圧は 100% 負荷の状態で規制の範囲内に留まります

具体的な構成の電力を計算するには、次の URL にある Cisco UCS 電力計算ツールを使用してください。

http://ucspowercalc.cisco.com

環境仕様

表 45 に、C225 M6 サーバの環境仕様を示します。

表 45 M6 環境仕様

パラメータ	最小
動作温度	10˚C ~ 35˚C（50˚F ~ 95˚F）の乾球温度 1 時間あたりの最大温度変化は 20˚C（36˚F） (変化率ではなく、一定時間内の温度変化) 湿度条件：非制御、50% RH 以内の開始条件 900 m を超える高度で 305 m ごとに最高温度が 1 ℃（33.8˚F）低下。
拡張動作温度	5 ~ 40˚C（41 ~ 104˚F)、直射日光なし 湿度条件：非制御、50% RH 以内の開始条件 900 m を超える高度で 305 m ごとに最高温度が 1 ℃（33.8˚F）低下。
非動作時温度	乾球温度 -40˚C ~ 65˚C（-40˚F ~ 149˚F）
動作時の相対湿度	10 ~ 90%、最大露点温度 28˚C（82.4˚F)、非凝縮環境 -12˚C（10.4˚F）の露点または 8% の相対湿度より高い（湿気が多い）ことが最低条件 最大露点 24˚C（75.2˚F）または最大相対湿度 90%
非動作時相対湿度	相対湿度 5% ~ 93%、結露しないこと、乾球温度 20˚C ~ 40˚C の最大湿球温度は 28˚C。
最長動作期間	無制限
動作高度	最大標高 3050 メートル（10,006 フィート）
非動作高度	標高 0 ~ 12,000 メートル（39,370 フィート）
音響レベル測定 A 特性 ISO7779 LWAd（Bels)、23 ˚C (73 ˚F）で動作	5.5
音圧レベル測定 A 特性 ISO7779 LpAm（dBA)、23 ˚C (73 ˚F）で動作	40

拡張動作温度におけるハードウェア構成の制限

表 46　Cisco HyperFlex HX225C M6S All Flash および Hybrid サーバーノードの拡張動作温度におけるハードウェア構成の制限

プラットフォーム[1]	ASHRAE A3（5°C ～ 40°C）[2]	ASHRAE A4（5 °C ～ 45 °C）[3]
プロセッサ：	155W+	155W+ および 105W+（4 または 6 コア）
メモリ：	LRDIMM	LRDIMM
ストレージ：	M.2 SATA SSD NVMe SSD	M.2 SATA SSD NVMe SSD
ペリフェラル：	PCIe NVMe SSD GPU	MRAID PCIe NVMe SSD GPU mLOM VIC NIC HBA

注：

1. 2 つの PSU が必要で、PSU 障害はサポートされません
2. Cisco UCS 非認定の周辺機器や 25 W 以上消費する周辺機器はサポートされません。
3. 高電力または最大電力のファン制御ポリシーを適用する必要があります。

コンプライアンス要件

サーバの規制準拠要件を *表 47* に示します。

表 47 UCS HX- シリーズの規制準拠要件

パラメータ	説明
適合規格	本製品は、指令 2014/30/EU および 2014/35/EU による CE マーキングに準拠しています。
安全性	UL 60950-1 第 2 版 CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1 第 2 版 EN 60950-1 第 2 版 IEC 60950-1 第 2 版 AS/NZS 60950-1 GB4943 2001
EMC：エミッション	47CFR Part 15（CFR 47）クラス A AS/NZS CISPR 32、クラス A CISPR32 クラス A EN55032 クラス A ICES003 クラス A VCCI クラス A EN61000-3-2 EN61000-3-3 KN32 クラス A CNS13438 クラス A
EMC：イミュニティ	EN55024 CISPR24 EN300386 KN35

シスコ コンタクトセンター

自社導入をご検討されているお客様へのお問い合わせ窓口です。
製品に関して | サービスに関して | 各種キャンペーンに関して | お見積依頼 | 一般的なご質問

お問い合わせ先
お電話での問い合わせ
平日 9:00 - 17:00
0120-092-255

お問い合わせウェブフォーム
cisco.com/jp/go/vdc_callback

©2022 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における商標登録または商標です。
本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1502R) この資料の記載内容は20XX年X月現在のものです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。

シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
cisco.com/jp